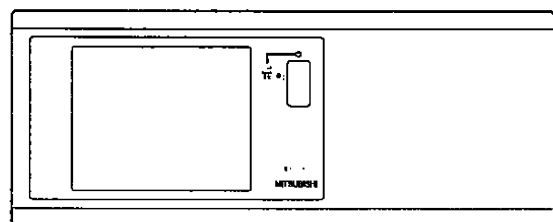
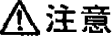
MITSUBISHI

三菱電機 ビル 空調管理システム

集中コントローラ
G-50 / G-50-W
取扱説明書

もくじ

ページ

1. 安全のために必ず守ること……………………………1
2. 製品の機能……………………………………………2
3. 各部の名称と表示画面一覧…………………………4
4. 通常の操作……………………………………………6
   4-1 運転状態モニタ方法 ……………………………7
   4-2 空調機操作・手元禁止操作 ……………………8
   4-3 タイマー運転（タイマー設定画面）…………16
   4-4 異常が発生した場合 ……………………………21
   4-5 現在時刻の設定 …………………………………22
5. 初期設定 ………………………………………………23
   5-1 初期設定メニューへの移行操作 ………………23
   5-2 M-NETアドレス設定 ……………………………23
   5-3 本機の機能設定 …………………………………24
   5-4 グループ設定 ……………………………………25
   5-5 連動設定 …………………………………………29
   5-6 ユーザー設定 ……………………………………31
   5-7 IPアドレス設定 …………………………………33
   5-8 初期設定ツールの接続について ………………34
6. 立上げ時・サービス時のモニタ機能 ………………35
   6-1 冷媒系の接続状態モニタ ………………………35
   6-2 異常履歴のモニタ ………………………………36
7. 外部入出力機能 ………………………………………37
   7-1 外部入力機能 ……………………………………37
   7-2 外部出力機能 ……………………………………38
8. 仕様 ……………………………………………………38

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。
この取扱説明書は大切に保管してください。

1. 安全のために必ず守ること

●ご使用の前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●お読みになった後は、据付説明書とともにお使いになる方がいつでも見られる所に、必ず保管してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書と据付説明書をお渡しください。

⚠警告

お客さま自身で据付けはしない。
据付けは、販売店または専門業者に依頼してください。お客さま自身で据付け工事をされ不備があると感電、火災等の原因になります。

据付け状態を確認する。
本機が落下しないよう、堅固な場所に固定されていることをご確認ください。

定格の電源になっているか確認する。
火災や本機の故障の原因になります。

異常時は運転を停止する。
異常のまま運転を続けると故障や感電・火災等の原因になります。異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して電源スイッチを切り、販売店にご相談ください。

お客さま自身で移設はしない。
据付けに不備があると感電、火災等の原因になります。
お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

お客さま自身で本機を廃棄しない。
本機を廃棄する場合は、販売店にご相談ください。

改造・修理は絶対にしない。
改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。修理はお買上げの販売店にご相談ください。

本機にエラー表示が出て運転しなかったり、不具合が発生した場合は運転を停止する。
そのままにしておくと火災や故障の原因になります。
お買上げの販売店にご連絡ください。

⚠注意

本機の周りに危険物を置かない。
可燃性ガスの漏れる恐れがある場所への設置は行なわないでください。万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火、爆発の原因になることがあります。

本機を水洗いしない。
感電、故障の原因になることがあります。

濡れた手でボタンを操作しない。
感電、故障の原因になることがあります。

特殊用途に使用しない。
この製品は、三菱電機ビル空調管理システム用です。他の空調機管理あるいは別の用途には使用しないでください。
誤動作の原因になることがあります。

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹きつけない。
可燃性スプレー等を本機の近くに置いたり、本機に直接吹きかけないでください。
発火、爆発の原因になることがあります。

特殊環境には使用しない。
油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと、性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

スイッチを先のとがったもので押さない。
感電、故障の原因になることがあります。

使用温度範囲を守る。
使用温度範囲を守ってください。使用温度範囲から外れたところで使用しますと重大な故障の原因になることがあります。
使用温度範囲は取扱説明書の仕様表をご確認ください。
また、取扱説明書に記載がない場合は0℃～40℃となります。

伝送線を引っ張ったり、振ったりしない。
火災、故障の原因になることがあります。

本機を分解しない。
内部の基板などに触れますと危険なうえ、火災、故障の原因になることがあります。

本機をベンジンやシンナー、化学雑巾などでふかない。
変色、故障の原因になることがあります。汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤を布につけ、よく絞った状態でふき取り、乾いた布でふきあげてください。

2. 製品の機能

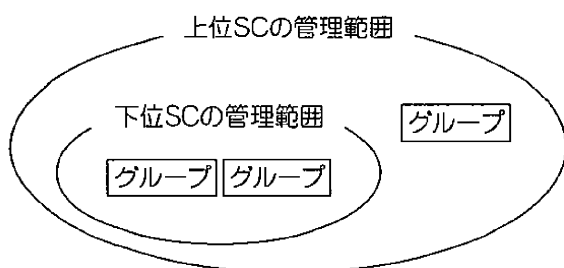
本機は、Web対応集中コントローラです。
本機ボタンからの直接操作の他、Web機能を使用しパソコンのブラウザソフトを利用して、空調機の操作・監視が可能です。
Web機能を使用する場合、別冊のWebブラウザ操作マニュアルをご覧ください。

機能			内容
管理台数		室内ユニット、ロスナイ	最大50台まで接続可能。（連動機を含む。室内ユニットの形名により接続台数が少なくなる場合があります。）
		1グループの室内ユニット台数	1～16台（連動させないロスナイも同様。但し、室内ユニット・ロスナイを同一グループに混在させることはできません。）
		1グループのリモコン台数	0～2台
		1グループのシステムコントローラ	0～4台（但し、1グループ内のリモコンとシステムコントローラの合計が4台以下となるようにしてください。）
		連動機	●1台の連動元（室内ユニット）に連動できる連動機（ロスナイ）……………………………… 1台 ●1台の連動機（ロスナイ）に設定できる連動元（室内ユニット）………………………… 16台
通常機能	操作	運転／停止	一括またはグループ単位で、運転／停止操作ができます。
		運転モード	一括またはグループ単位で、冷房／ドライ／暖房／送風／自動の切換ができます。 （ロスナイのみのグループでは換気モードの熱交換／普通／自動の切換ができます。）
		風速	一括またはグループ単位で、4段階、自動の切換ができます。（機種により2段階・3段階、4段階・自動となります。「自動」の風速は、機能あり機種に対し、Ver.3.10以降で操作できます。）
		設定温度	一括またはグループ単位で、室内温度の設定ができます。 設定温度範囲　冷房運転時 19℃～30℃　暖房運転時 17℃～28℃　自動運転時 19℃～28℃ （接続する機種により温度範囲は変化します。）
		風向設定	一括またはグループ単位で、上下5段階、自動及びスイングの切換ができます。（機種により、選択可能な風向は異なります。「上下5段階、自動」の風向は、機能あり機種に対し、Ver.3.10以降で操作できます。）
		連動機の運転／停止（ロスナイ）	連動機（ロスナイ）のある場合、一括またはグループ単位で運転（強／弱）／停止の切換ができます。（但し、連動機の場合、換気モードの選択はできません。）
		手元リモコンの操作禁止	一括またはグループ単位で、手元リモコンからの操作を禁止する項目を選択・設定できます。 （禁止できる項目は、運転／停止・運転モード・設定温度・フィルターサイン。）
		タイマー運転	グループ単位で、1週間のスケジュール運転ができます。 ●1週間に、4種類の運転パターン（P1～P4）を設定できます。 （但し、パターンP4は手元リモコンの操作禁止のパターン） ●1日に、3回ずつ運転／停止を設定できます。 ●タイマー運転に連動させた「温度設定」または「セットバック運転」が可能です。
		フィルターサインリセット	一括またはグループ単位で、フィルターサイン表示のリセットができます。
		外部入力	外部から一括で、緊急停止、運転/停止、禁止/許可の設定ができます。（別売の外部入出力アダプタが別途必要）
	モニタ	運転／停止（一括）	一括運転／停止ランプで1グループ以上が運転中、または全グループ停止を表示します。
		グループ単位の運転状態	グループ単位で、運転／停止・運転モード・風速・設定温度・風向・連動機の運転／停止・タイマー運転の有効／無効を表示します。
		フィルターサイン	グループ単位で、フィルター清掃の時期が来たことをお知らせします。
		手元操作禁止	本機が禁止している内容、または他機からの禁止内容を表示します。
		異常発生	異常発生中ユニットのアドレスと異常コード、および異常を検出したユニットのアドレスを表示。
		外部出力	外部に一括の運転/停止、異常発生の信号を出力できます。（別売の外部入出力アダプタが別途必要）
初期設定機能	操作	グループ設定	室内ユニット・ロスナイ・リモコン・下位システムコントローラをグループに登録します。
		連動設定	連動機（ロスナイ）に、室内ユニットを連動元として登録します。
	モニタ	異常履歴モニタ	過去に発生した異常を、最大64個まで記憶します。（発生が新しい順に64個。）
		冷媒系モニタ	室外ユニットごとに、実際に接続されている室内ユニットを確認できます。
その他	システム	禁止送信／受信	手元リモコンに対して操作禁止を本機で行なうか、他のコントローラで行なうかを設定します。
		禁止送信先	禁止を行なう場合、禁止先をリモコンだけとするか、他のコントローラを含むかを設定します。
	データのバックアップ	接続情報／連動情報（＊1）	グループ設定情報、連動設定情報は電源が切れても消えません。
		異常履歴	電源が切れても消えません。
		タイマー運転	グループごとに設定したスケジュール情報は電源が切れても消えません。
		現在時刻	電源が切れた場合、内部のコンデンサーで約1週間、現在時刻を正常にカウントします。（内部のコンデンサー充電には約1日かかります。バッテリー交換の必要はありません。）

＊1. グループ設定・連動設定のデータの内容は入力後、初期設定モードメニュー画面から通常モードメニュー画面へ移行するタイミングで記憶をします。移行操作後、5分間は電源を切らないでください。

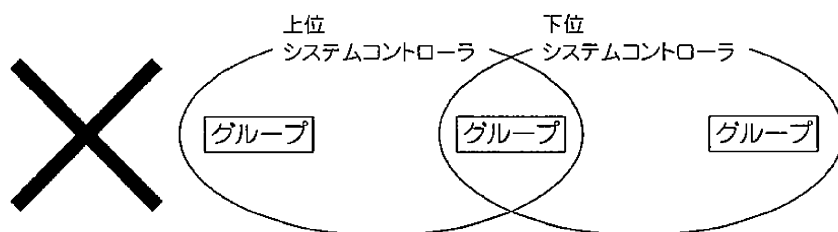
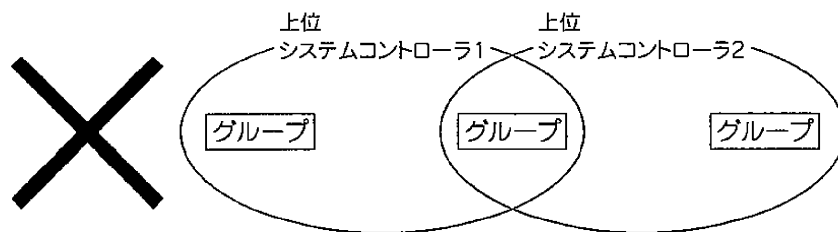
＊2. 上位システムコントローラと下位システムコントローラについて
本機は常に上位システムコントローラとなります。下位システムコントローラとして扱えません。

●上位システムコントローラ（上位SC）
他のシステムコントローラの管理範囲全てを包含して管理するシステムコントローラを上位システムコントローラと言います。
また、システム内にシステムコントローラが1台しかない場合、そのコントローラも上位システムコントローラとなります。
上位システムコントローラでのみグループ設定、および連動設定操作が必要です。

●下位システムコントローラ（下位SC）
自己の管理する範囲全てを上位システムコントローラから管理されるコントローラを下位システムコントローラと言います。

本機は上位SC専用です。下位SCとして上位SC（ゲートウェイなど）から管理することはできません。

お知らせ

次のようなグループ設定はできません。

●上位システムコントローラの管理下にないグループを、下位コントローラから管理する。

●2台以上の上位システムコントローラで、同じグループを管理する。

●2台以上の上位システムコントローラからの管理を受ける下位システムコントローラ

3. 各部の名称と表示画面一覧

一括運転/停止ランプ

空調機の運転状態を表示
消灯…全グループ停止中
点灯…1グループ以上が運転中
点滅…異常発生中

一括運転/停止ボタン

空調機の一括運転/停止操作
●全グループ停止中に押すと全グループ運転。
●運転中に押すと全グループ停止。

表示部

※ 集中コントローラ
G-50 または G-50-W
の表示になります

通常モードメニュー画面

（メニュー） 月 00:15
1 運転モニタ
2 操作設定
3 タイマー設定
4 異常モニタ
5 時刻設定

(↑) (↓) ボタンを
同時に２秒押します

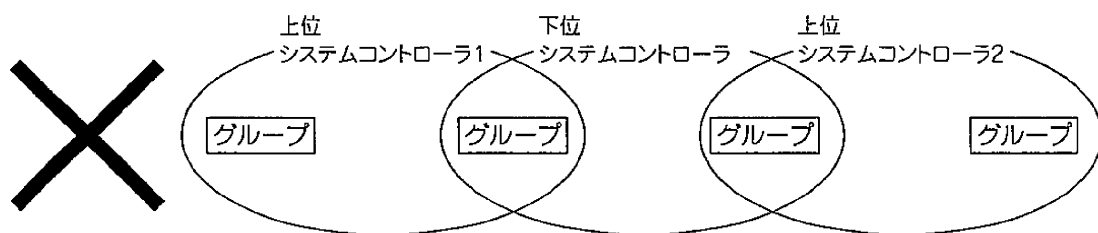
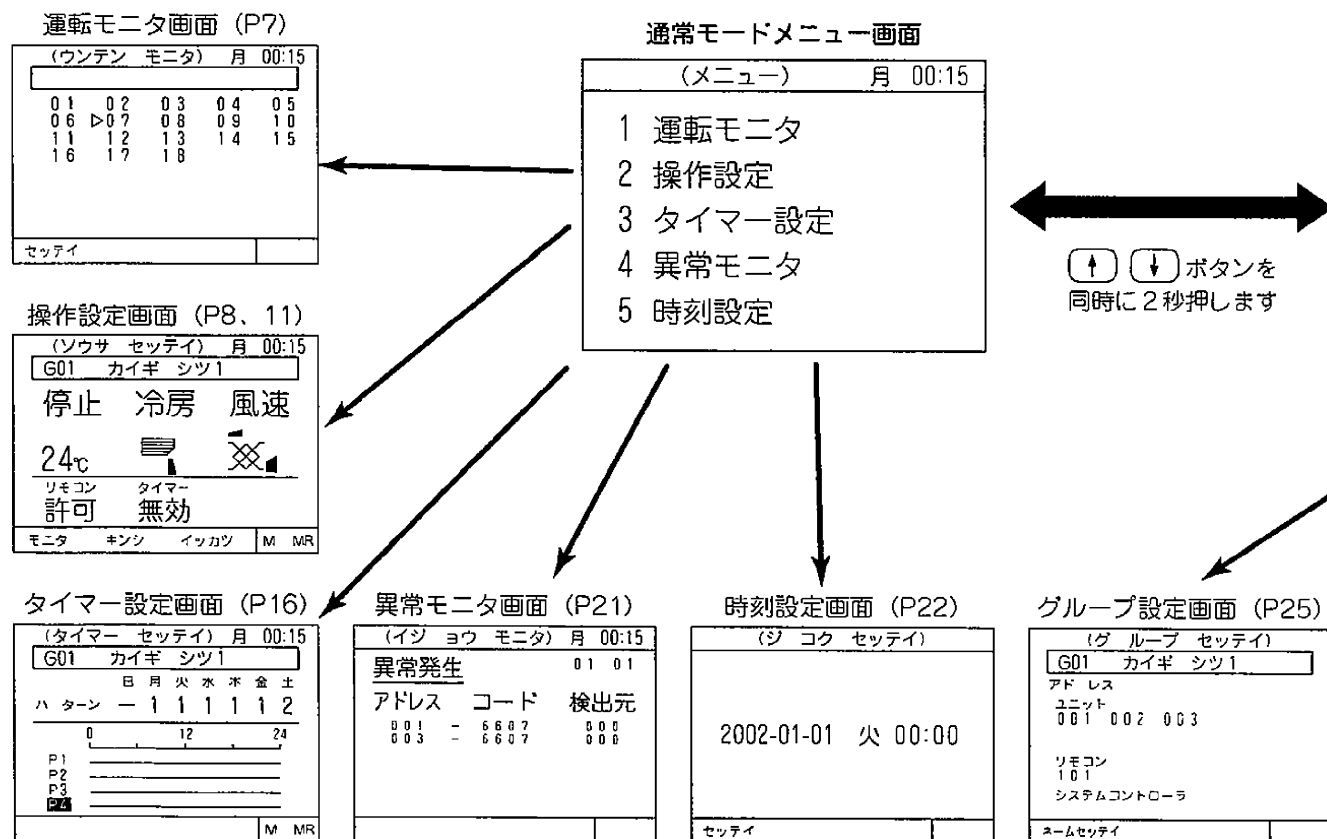
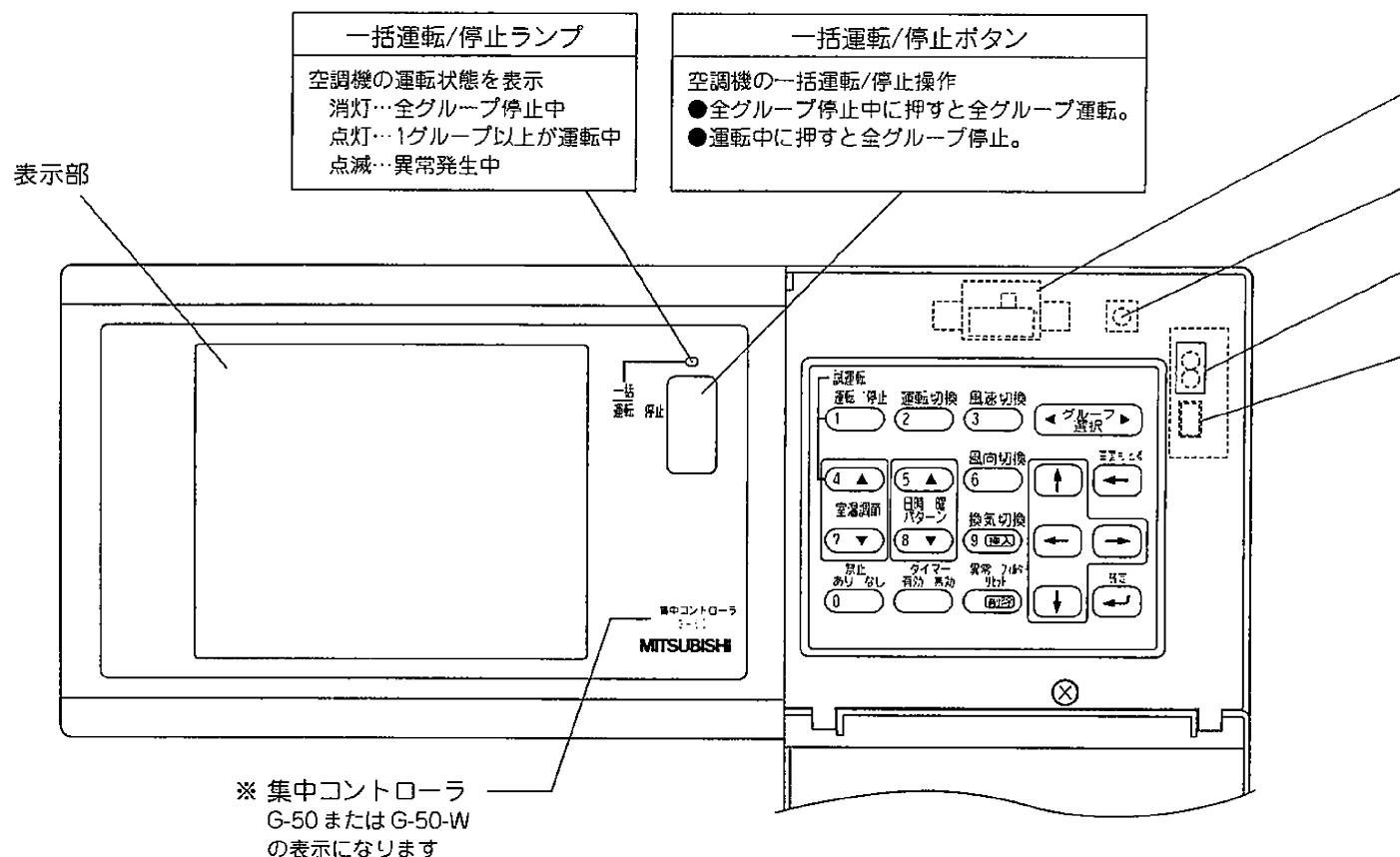
運転モニタ画面（P7）

操作設定画面（P8、11）

タイマー設定画面（P16）

異常モニタ画面（P21）

時刻設定画面（P22）

グループ設定画面（P25）

LAN 切換スイッチ
このスイッチの説明は「5-8　初期設定ツールの接続について（P34）」を参照ください。

液晶コントラスト調整ボリューム

LAN ステータスランプ
オレンジLEDはアクションを、緑LEDはリンクを表示します。

サービス用LAN コネクタ
このコネクタの説明は「5-8　初期設定ツールの接続について（P34）」を参照ください。

4. 通常の操作

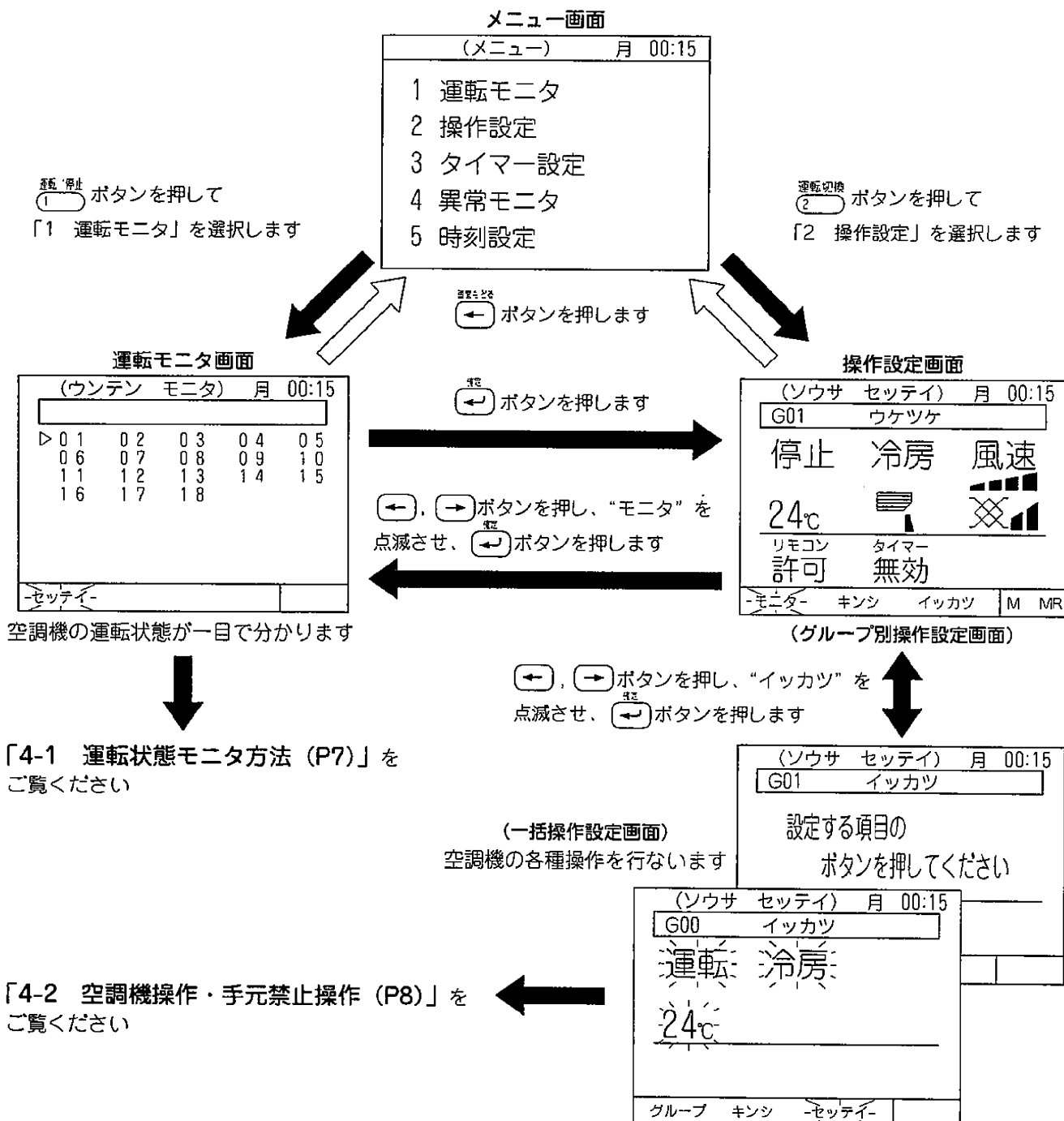
●通常の操作を行なうときは、次の2つの画面を使用します。

●運転モニタ画面	……空調機の運転/停止/異常状態を表示します。 通常、本機はこの画面で運用します。
●操作設定画面	………空調機の各操作（運転/停止、運転モード、風速、温度設定、タイマー運転有効/無効、手元リモコンの操作禁止/許可、フィルターリセット、室温表示）をグループ別、または一括で行ないます。

通常モード中は、どの画面においても一括運転/停止ボタン操作ができます。

〈運転モニタ画面・操作設定画面への移り方〉

〈メニュー画面への移り方〉

ボタンを数回押すことにより、メニュー画面に戻ります。

4-1 運転状態モニタ方法

●空調機の状態をユニット単位、またはグループ単位で運転中/停止中/異常発生中のいずれかで表示します。
●表示方法はユニットアドレス表示、グループ番号表示、グループ名表示から選択できます。選択はユーザー設定画面にて行ないますので、「5-6　ユーザー設定（P31）」をご参照の上、設定を行なってください。
●他の画面で10分間操作がない場合は、運転モニタ画面に切替ります。

（1）操作方法

●それぞれの表示方法で操作が異なりますのでご注意願います。

〈ユニットアドレス表示〉

①◀グループ選択▶ボタンを押し、操作・モニタしたいグループに切換えます。
（グループ00 “G00” は全ユニットの一括表示です。）

②運転・停止ボタンを押すことにより、表示しているグループのユニットが運転/停止します。

〈グループ番号表示〉

①カーソル移動ボタン↑↓←→を押し、操作・モニタしたいグループに“▷”を移動させます。

②運転・停止ボタンを押すことにより、指定したグループのユニットが運転/停止します。

〈グループ名表示〉

①カーソル移動ボタン↑↓←→を押し、操作・モニタしたいグループに“▷”を移動させます。

②運転・停止ボタンを押すことにより、指定したグループ名のユニットが運転/停止します。

※グループ名設定で入力されたグループ名の頭3文字のみ表示します。

（2）表示内容

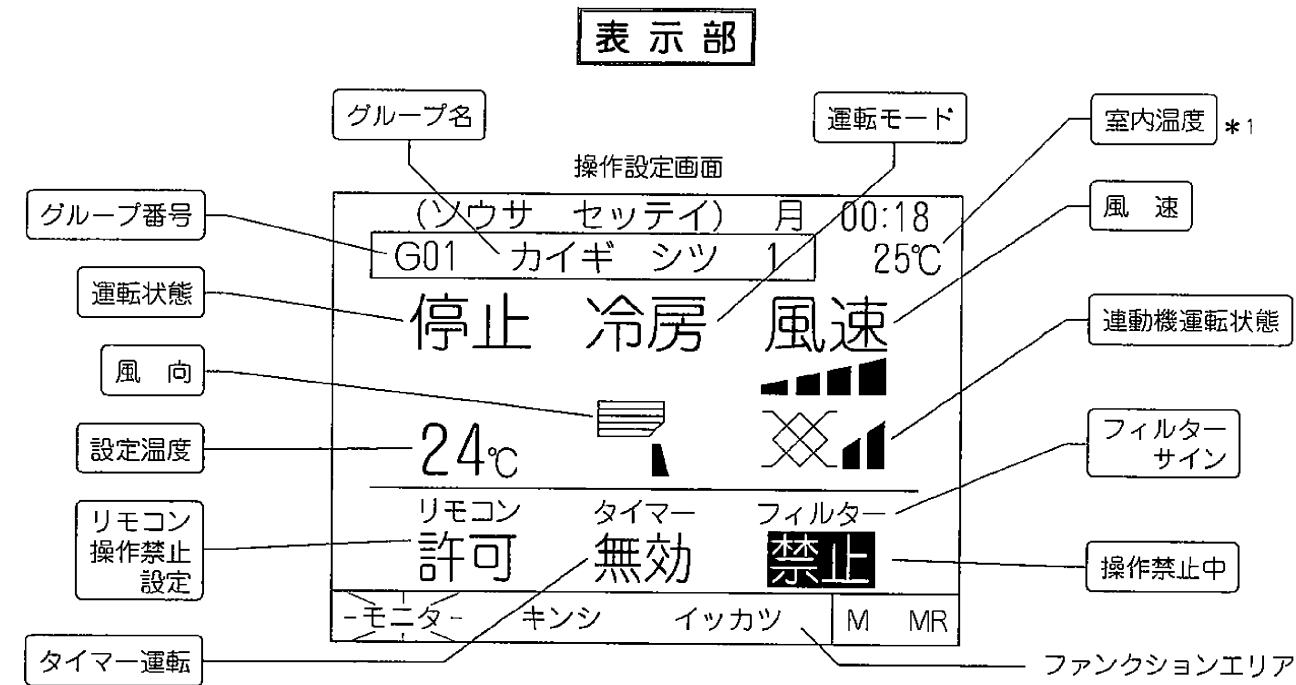
※グループ名表示・ユニットアドレス表示の場合も同様です。
※異常が発生した場合は、「4-4　異常が発生した場合（P21）」をご覧ください。

お知らせ	運転モニタ画面の表示方法の選択は、初期設定モードのユーザー設定画面で実施します。 ユーザー設定画面での設定方法は、「5-6　ユーザー設定（P31）」をご覧ください。

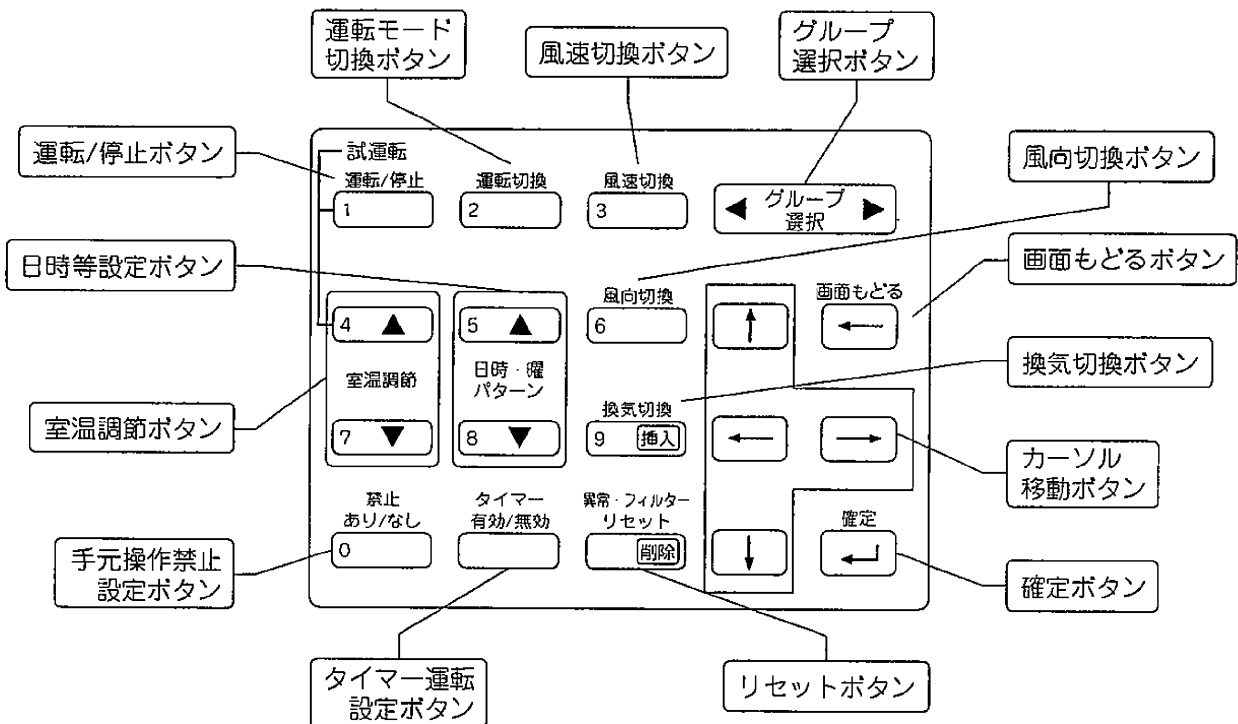
4-2 空調機操作・手元禁止操作

●操作方法にはグループ別に行なう方法と、一括して行なう方法の2つの方法があります。

4-2-1 グループ別空調機操作

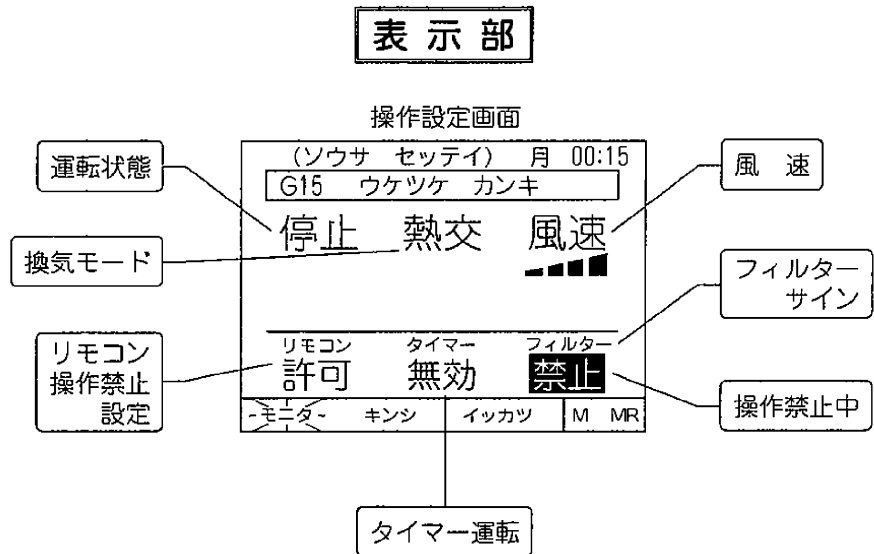
(1) 空調機グループの場合

	機能	操作ボタン	表示内容
1	グループ番号 グループ名	グループ選択ボタン	登録されているグループを順番に表示します。
2	運転状態	運転／停止ボタン	表示しているグループの運転状態を切換えます。 「停止」←→「運転」 連動機があるグループでは、運転操作時連動機も弱運転あるいは、強運転します。また、停止操作時では、連動機も停止します。
3	運転モード	運転モード切換ボタン	表示しているグループの運転モードを切換えます。 →「自動」→「暖房」→「冷房」→「ドライ」→「送風」 (室内ユニットに無いモードは表示されません。) ロスナイのグループを表示している場合は次のようになります。 →「普通」→「熱交」→「換自」
4	風　速	風速切換ボタン	表示しているグループの風速を切換えます。＊2 風速4段機種 →「風速」→「風速」→「風速」→「風速」→「風速※」 風速3段機種 →「風速」→「風速」→「風速」→「風速※」 風速2段機種 →「風速」→「風速」→「風速※」 ※：自動を示す。 (自動機能の無い機種は自動を表示しません。)
5	設定温度	室温調節ボタン	表示しているグループの設定温度を切換えます。 冷房、ドライ時：19～30℃（中温機種接続時は14～30℃） 暖房時　　　　：17～28℃ 自動時　　　　：19～28℃（中温機種接続時は17～28℃） (送風運転時は設定なし) ＊接続する機種により、上記以外の設定範囲となる場合があります。

＊1　室内温度は“ユーザー設定画面”で表示選択している場合のみ表示します。
＊2　風速機能の「自動」は、Ver.3.10以降で対応しています。

操作部

	機　能	操作ボタン	表　示　内　容
6	風　向	風向切換ボタン	表示しているグループの風向を切換えます。＊1 → (水平) → → → → (下) → (スイング) → (自動) (機種によってスイング表示、自動表示が出ない場合もあります。風向は４段階および５段階の機種があります。)
7	連動機運転状態	換気切換ボタン	表示しているグループに連動している連動機の運転／停止、風速を切換えます。 →「　」停止 →「　」強運転 →「　」弱運転 (連動機が無いグループには連動機運転状態は表示されません。)
8	リモコン操作禁止設定	手元操作禁止設定ボタン	表示しているグループのリモコン操作の禁止／許可を切換えます。 「許可」←→「禁止」 (操作禁止となる項目は、禁止設定画面で設定した内容となります。)
9	タイマー運転	タイマー運転設定ボタン	表示しているグループのタイマー運転　有効／無効を切換えます。 「無効」←→「有効」 (タイマー運転の内容は、タイマー設定画面で設定した内容となります。)
10	フィルターサイン	リセットボタン	表示しているグループの、フィルター清掃時期を「フィルター」の点灯でお知らせします。 (リセットボタンの２度押しで表示が消え、積算時間がリセットされます。)
11	操作禁止中	――――	他のシステムコントローラから操作を禁止されているときに表示します。
12	ファンクションエリア	カーソル移動ボタン 確定ボタン	確定ボタンを押すと、点滅している項目の画面に移行します。 モニタ　：モニタ画面に移行します。 キンシ　：禁止項目設定画面に移行します。 イッカツ：一括設定画面に移行します。 M.　MR　：Mで記憶したグループの設定内容を、MRでコピーします。

＊1　風向機能の自動、下向き2段目（水平から2つ目）は、Ver.3.10以降で対応しています。

(2) ロスナイグループの場合

表示部

	機　　能	操作ボタン	表　　示　　内　　容
1	運転状態	運転/停止ボタン	表示しているグループの運転状態を切換えます。 「停止」←→「運転」
2	換気モード	運転モード切換ボタン	表示しているグループの換気モードを切換えます。 →「普通」→「熱交」→「換自」┐ 普通：熱交換を行なわない換気 熱交：熱交換を行なう換気 換自：普通・熱交換の自動切換　＊機種により異なります。
3	風　速	風速切換ボタン	表示しているグループの風速を切換えます。 風速２段機種　「風速」←→「風速」 風速切換無し機種　風速表示が表示されません。
4	リモコン操作禁止設定	手元操作禁止設定ボタン	表示しているグループのリモコン操作の禁止/許可を切換えます。 「許可」←→「禁止」 操作禁止項目は反転文字で表示されます。 (操作禁止となる項目は禁止設定画面で設定した内容です。)
5	タイマー運転	タイマー運転設定ボタン	表示しているグループのタイマー運転　有効/無効を切換えます。 「無効」←→「有効」 (タイマー運転の内容は、タイマー設定画面で設定した内容となります。)
6	フィルターサイン	リセットボタン	表示しているグループのフィルター清掃時期を「フィルター」の点灯でお知らせします。 (リセットボタンの２度押しで、表示が消え、積算時間がリセットされます。)
7	操作禁止中	――――――	他のシステムコントローラから操作を禁止されているときに表示します。

①風向の表示は出ず、操作もできません。
②連動機の表示は出ず、操作もできません。

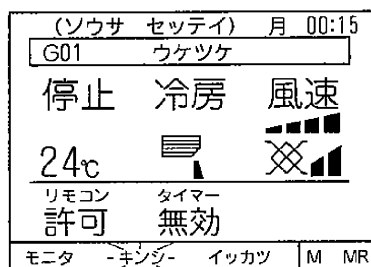
(3) K制御空調機グループの場合

●操作設定画面に全ての項目が表示されますが、室内ユニットの保有する機能のみ設定操作ができます。

4-2-2　グループ別手元リモコンの操作禁止

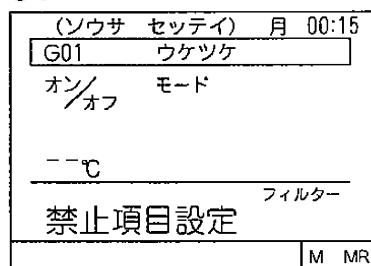
●本機は、接続されている手元リモコン、下位システムリモコンからの操作を項目ごとに禁止することができます。
禁止項目は、運転/停止操作、運転モード切換操作、設定温度操作、フィルターリセット操作の4項目です。

(1) 手元リモコンの操作禁止方法

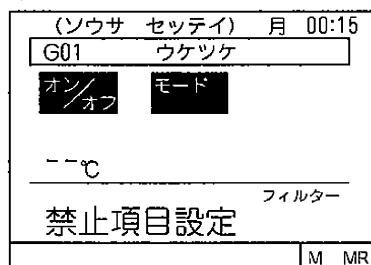
①操作設定画面で禁止したいグループを選択し、“キンシ”を選択する。

(a)(◀グループ選択▶)ボタンを押し、禁止設定したいグループに切換えます。

(b)カーソル移動ボタン(←)，(→)を押して、ファンクションエリアの“キンシ”を点滅させます。

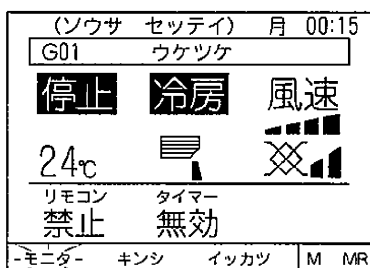
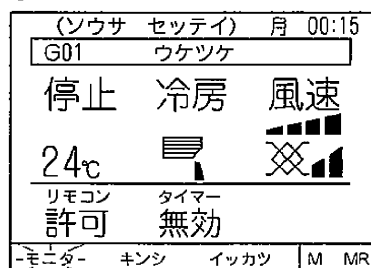
(c)(確定 ↵)ボタンを押し、禁止設定画面を表示させます。

②禁止する項目を選択します。

(a)手元リモコンの操作を禁止したい項目のボタンを押して、禁止を設定します。
反転表示＝操作禁止/通常表示＝操作許可を表し、押す度に
通常表示点滅⇔反転表示点滅が切換ります。

●運転/停止操作を禁止する場合：　(運転 停止 1)ボタン（表示：オン/オフ）
●運転モード切換操作を禁止する場合：　(運転切換 2)ボタン　（表示：モード）
●設定温度切換操作を禁止する場合：　(4▲ 室温調節)ボタン　（表示：－－℃）
●フィルターサインのリセット操作を禁止する場合：　(警報・フィルターリセット)ボタン（表示：フィルター）

③禁止設定した項目が反転表示します。

(a)禁止設定した項目が反転表示します。（もう一度押すと許可となります）

(b)設定後、(←)ボタンを押し、操作設定画面に戻します。

④操作設定画面でリモコン禁止を設定します。

(a)(禁止 あり なし 0)ボタンを押します。

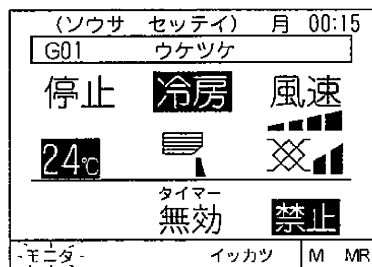
(b)禁止項目が反転表示し、“リモコン 許可”が“リモコン 禁止”の表示に切換ります。
この操作にて、禁止設定は完了です。

お願い
お知らせ

●上記②の禁止設定画面で禁止項目を選択しただけでは手元リモコンの操作は禁止になりません。
必ず、操作設定画面で(禁止 0)ボタンを押し、“リモコン 禁止”に設定してください。
●操作を禁止設定する手元範囲（手元リモコンのみ/手元リモコンと下位システムコントローラの両方）を選択できます。詳細は「5-3　本機の機能設定（P24）」を参照願います。
●本機の機能設定で本機からの手元禁止設定＝不可を選択している場合、本機から操作禁止設定は出来ません。
●K制御機種への操作禁止設定は運転/停止、運転モード、設定温度のみで、この3項目の禁止/許可は個別に設定できません。どれか1つを禁止にすると上記3項目全てが禁止となります。
●ロスナイを管理しているグループでは、運転/停止及びフィルターサインリセット操作のみ禁止設定可能です。
●フィルターサインリセット操作の禁止表示は、フィルターサイン点灯中のみ表示されます。
●M-NET系手元リモコンを使用する場合、M-NET系リモコンも正しくグループ登録してください。
M-NET系手元リモコンがグループ設定されていない場合、操作禁止となりません。
（P25の「お願い」、P26の④を参照ください。）

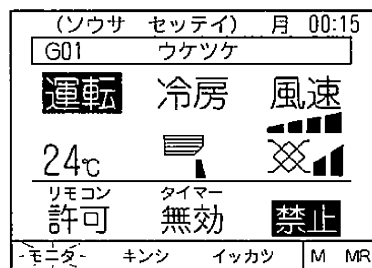
(2) 本機自身が操作禁止を設定された場合

●本機以外のシステムコントローラから本機の操作を禁止された場合や、外部入力のレベル運転/停止・緊急停止を使用している場合は、本機の操作も禁止されます。

〈他のシステムコントローラから本機の操作が禁止されている場合〉

①画面右下に"禁止"が表示されます。

②操作が禁止されている操作項目が反転表示となります。
(フィルターサインリセット操作の禁止表示は、フィルターサイン点灯中のみ表示されます)

お知らせ	本機が他のシステムコントローラから操作禁止を受ける場合、本機の機能設定No.4の手元禁止設定=不可(ON)に設定されている場合のみ有効です。 (機能設定No.4が手元禁止設定=不可(ON)の場合、本機から手元リモコンへの操作禁止設定は出来ません。)

〈外部入力信号を使用している場合〉

①画面右下に"禁止"が表示されます。

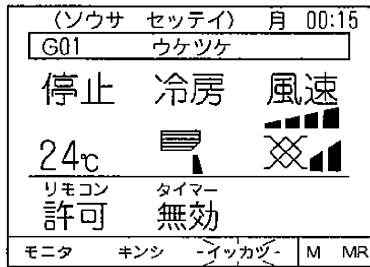
②外部入力のレベル運転/停止を使用した場合。
- ●運転(停止)表示が反転表示となり、運転/停止ボタン操作は禁止となります。また、タイマー運転も実施されません。
- ●この場合、手元リモコンへの操作禁止設定をすることも出来ません。

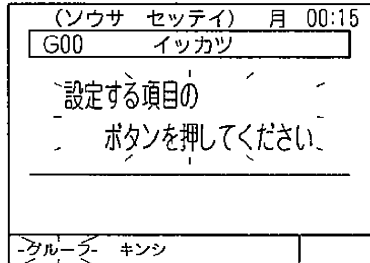
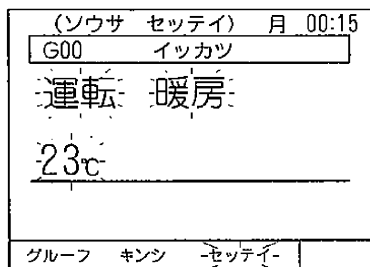
③外部入力の緊急停止を使用した場合。
- ●緊急停止状態となると空調機を停止させ、緊急停止状態が解除されるまで運転/停止ボタン操作は禁止となり、タイマー運転も実施されません。

お知らせ	本機で外部入力のレベル運転/停止または緊急停止を使用する場合は、機能設定No.4が手元禁止設定可/不可に関わらず、手元リモコンに対し操作禁止設定を送信します。従って、本機で外部入力のレベル運転/停止または緊急停止を使用する場合は、他のシステムコントローラから手元リモコンへの操作禁止設定は行なわないようにしてください。 システム内で手元リモコンへ操作禁止を設定できるシステムコントローラは1台としてください。複数のシステムコントローラから操作禁止設定をしますと、手元リモコンの操作禁止が正常に行なわれません。

4-2-3　一括空調機操作・手元禁止操作

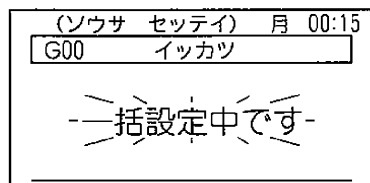
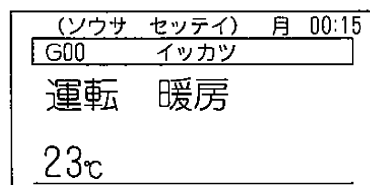
●本機で管理する全てのグループを一括して操作できます。
　また手元リモコン及び下位システムコントローラの操作を一括して禁止設定することができます。

(1) 一括　空調機操作

①操作設定画面で、カーソル移動ボタン(←)，(→)を押し、ファンクションエリアの“イッカツ”を点滅させます。

②(↵)ボタンを押します。

③一括操作設定画面が表示されます。
　一括操作設定での設定可能項目
●運転操作：運転、停止
●運転モード：冷房、ドライ、送風、自動、暖房、熱交、換自、普通
　(熱交、換自、普通はロスナイに対するダンパ切換モード)
●風速：4速＋自動切換（自動は、Ver.3.10以降）
●室温調節：19℃～28℃
　(但し、運転モード＝熱交、換自、普通を選択した場合は設定できません。)
●風向設定：5段階切換、スイング、自動（5段、自動は、Ver.3.10以降）
●連動換気運転操作：弱運転、強運転、停止
●リモコン操作禁止設定：リモコン禁止、許可
●タイマーモード：タイマーモード有効、無効
●フィルターサインリセット：リセット操作

④一括で設定したい項目のボタンを押し、設定内容を表示（点滅）させます。

お知らせ
●接続しているユニットの機能に関係なく、全ての機能が設定可能です。
　設定した内容はその機能を持つユニットにのみ設定されます。
●設定を行なわなかった項目は、各グループの現在の状態を保持します。
●一括設定を途中で中止したい場合は、(↵)ボタンを押さずに、(←)ボタンを押せば、設定内容がキャンセルされます。

⑤ファンクションエリアの“セッテイ”が点滅していることを確認し、(↵)ボタンを押します。(“セッテイ”が点滅していない場合、カーソル移動ボタン(←)，(→)で合わせます。)

(ソウサ　セッテイ)　月　00:15
G00　イッカツ
一括設定中です

⑥画面に“一括設定中です”が20秒間点滅し、設定内容をユニットへ送信します。

⑦20秒後、確定内容が点灯表示となり、一括設定は終了です。

　一括設定終了後、(←)ボタンを押せば、操作設定画面に戻ります。

(2) 一括　手元リモコン禁止操作

禁止項目は、運転/停止操作、運転モード切換操作、設定温度操作、フィルターリセット操作の4項目です。

(ソウサ　セッテイ)　月　00:15
G00　　イッカツ
設定する項目の
ボタンを押してください
グループ　キンシ

①一括操作設定画面で、カーソル移動ボタン(←)，(→)を押し、ファンクションエリアの“キンシ”を点滅させます。
（一括操作設定画面への移行は、前ページ(1)①、②操作参照)

②(↵)ボタンを押します。

(ソウサ　セッテイ)　月　00:15
G00　　イッカツ
禁止する項目の
ボタンを押してください

③一括禁止設定画面が表示されます。

●禁止できる項目は、運転/停止操作、運転モード切換操作、設定温度操作、フィルターサインリセット操作の4項目です。

---

④一括で禁止設定したい項目のボタンを押し、設定内容を表示（点滅）させます。
反転表示＝操作禁止/通常表示＝操作許可を表し、押す度に通常点滅表示⇔反転点滅表示が切換ります。
●操作禁止の設定方法は、「4-2-2　グループ別手元リモコンの操作禁止(P11)」と同様です。

お知らせ
●表示させていない項目は、各グループの現在の操作禁止状態を保持します。
●一括設定を途中で中止したい場合は、(↵)ボタンを押さずに、(←)ボタンを押せば、設定内容がキャンセルされます。

⑤ファンクションエリアの“セッテイ”が点滅していることを確認し、(↵)ボタンを押します。

(ソウサ　セッテイ)　月　00:15
G00　　イッカツ
一括設定中です

⑥画面に“一括設定中です”が20秒間点滅し、設定内容をメモリに記憶します。

---

⑦メモリへの書込み処理が終了しますと、確定内容が点灯表示となります。
次に、設定した操作禁止設定情報を全ユニットに送信するため、一括設定画面に移行します。

⑧(←)ボタンを押し、一括操作設定画面に移行させます。

(ソウサ　セッテイ)　月　00:15
G00　　イッカツ
設定する項目の
ボタンを押してください
グループ　キンシ

⑨一括操作設定画面が表示されます。

(ソウサ　セッテイ)　月　00:15
G00　イッカツ

リモコン
禁止
グループ　キンシ　セッテイ

⑩ [禁止 あり/なし 0] ボタンを押し、禁止(リモコン) 表示（点滅）させます。

押す度に、禁止(リモコン) ⇔ 許可(リモコン) 表示が切換ります。

⑪ファンクションエリアの “セッテイ” が点滅していることを確認し、[確定 ↵]ボタンを押します。(“セッテイ” が点滅していない場合、カーソル移動ボタン[←]，[→]で合わせます。)

(ソウサ　セッテイ)　月　00:15
G00　イッカツ

一括設定中です

⑫画面に “一括設定中です” が20秒間点滅し、先ほど設定した操作禁止内容をユニットへ送信します。

(ソウサ　セッテイ)　月　00:15
G00　イッカツ

リモコン
禁止
グループ　キンシ

⑬20秒後、確定内容が点灯表示となり、一括操作禁止設定は終了です。

一括設定終了後、[←]ボタンを押せば、操作設定画面に戻ります。

お願い
お知らせ

- 一括禁止設定画面で禁止項目を選択しただけでは手元リモコンの操作は禁止になりません。
  必ず、一括操作設定画面で[0]ボタンを押し、“禁止(リモコン)” に設定してください。
- 操作を禁止設定する範囲（手元リモコンのみ/手元リモコンと下位システムコントローラの両方）を選択できます。
  詳細は「5-3　本機の機能設定（P24）」を参照願います。
- 本機の機能設定で本機からの手元禁止設定＝不可を選択している場合、本機から操作禁止設定は出来ません。
- K制御機種への操作禁止設定は運転/停止、運転モード、設定温度のみで、この3項目の禁止/許可は個別に設定できません。どれか1つを禁止にすると上記3項目全てが禁止となります。また、ロスナイへは、運転/停止及びフィルターサインリセット操作のみ禁止設定が可能です。
  上記のように機種により、操作禁止可能な項目は異なりますが、一括操作禁止設定画面では接続しているユニットの禁止可能な項目に関係なく、全ての項目が禁止設定可能です。禁止設定した内容はその項目を有効とするユニットにのみ設定送信されます。
- M-NET系手元リモコンを使用する場合、M-NET系リモコンも正しくグループ登録してください。
  M-NET系手元リモコンがグループ設定されていない場合、操作禁止となりません。
  (P25の「お願い」、P26の④を参照ください。)

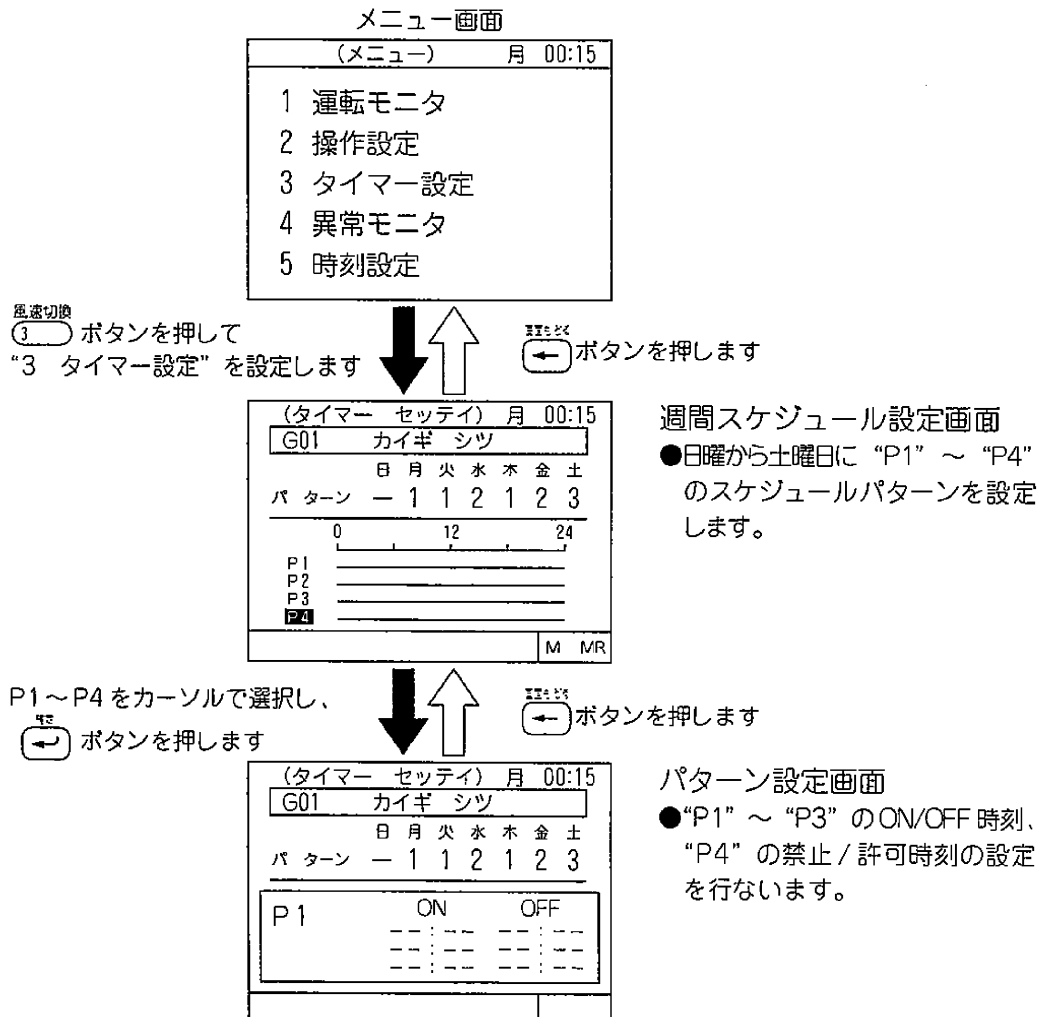
4-3 タイマー運転（タイマー設定画面）

●グループ単位で週間スケジュール運転の設定ができます。
●運転/停止のスケジュールに加えて、手元リモコンの操作禁止スケジュールも設定できます。
●スケジュール運転を行なう場合は、必ず現在時刻の設定を行なってください。現在時刻の設定方法は、「4-5 現在時刻の設定（P22）」をご覧下さい。

お知らせ	●ブラウザ監視、または、集中監視（統合ソフト）パソコンからスケジュール設定していた場合、本機のタイマー画面は使用できません。 この場合、タイマー設定メニューはメニュー画面から削除され表示されません。 ●外部入力信号を使用し、緊急停止状態の場合、または、レベル運転/停止が入力されている場合はタイマー運転は実施されません。

(1) スケジュール運転機能

①運転/停止の時刻は10分単位で設定できます。
②1日の運転スケジュールは、ON時刻、OFF時刻それぞれ3回まで設定できます。
　連動機を接続している場合、空調機とともに連動機もON時刻には運転、OFF時刻には停止します。
③1日のON/OFFパターンは3種類（P1、P2、P3）、手元リモコンへの操作禁止スケジュール（P4）は1種類、それぞれグループ毎に設定できます。また、ON/OFFパターンと操作禁止スケジュールを組み合わせて同日にスケジュール運転させることも可能です。（P1、P2、P3）
　設定したP1～P4を曜日毎に割りあて、グループごとに週間のスケジュール設定を行ないます。
④設定したスケジュール内容をメモリすることが出来ますので、他のグループへのスケジュールパターンのコピー操作も容易に行なえます。（メモリ、メモリリード機能）
⑤タイマー運転中の設定温度、またはセットバック値も設定できます。

(2) タイマー設定画面への移り方

(3) スケジュールパターン（P1～P4）の設定方法

①下の手順に従って、各グループ毎のスケジュールパターンの設定を行ないます。
②スケジュール設定にて、設定温度またはセットバック値の設定も行なえます。「5-6　ユーザー設定（P31）」において、あらかじめいずれかを選択してください。
③設定した設定温度、およびセットバック値はタイマー運転中のみ有効です。また、本機および手元リモコンにて設定温度の変更を行なったときは、セットバック運転が無効となります。（タイマーＯＮ時間ごとにセットバック運転となります）

〈スケジュールパターンの設定P1～P3、P4〉

①（◀グループ選択▶）ボタンを押し、タイマー設定を行ないたいグループを選択します。

②カーソル移動ボタン（↑）（↓）（←）（→）を押し、カーソルを移動させ設定を行ないたいパターン（P1～P3、P4）を点滅させます。

③（確定）ボタンを押します。

④パターン設定画面が表示されます。

⑤カーソル移動ボタン（↑）（↓）（←）（→）を押し、設定したい個所のON（キンシ）時刻、OFF（キョカ）時刻入力部にカーソルを移動させせます。
- ●ON時刻、OFF時刻はそれぞれ3回まで設定できます。
- ●設定時刻は上の段から順番に設定してください。上の段で設定した時刻よりも後の時刻のみ下の段で設定できます。
- ●ON時刻、OFF時刻のみの設定もできます。
- ●上記はP4のキンシ時刻、キョカ時刻の場合も同様です。

⑥日時等設定ボタン（5 ▲）（8 ▼）を押して、各スケジュール時刻を設定します。
（確定）ボタンを押すと次の時刻部へカーソルが移行します。

- ●時刻は00：00～23：50の範囲で設定できます。
- ●時刻は10分間隔で設定できます。

⑦ ⑤⑥の設定を繰り返し行なって、2回目、3回目のスケジュール時刻を同様に設定します。

- ●使用しない設定個所は－－：－－のままとしてください。
- ●設定したスケジュール時刻をキャンセルする場合、キャンセルしたい時刻部に合わせ（異常・フィルターリセット 削除）ボタンを押してください。

⑧設定が終わりましたら、（戻る）ボタンを押し、必要に応じ②～⑦操作にて別のパターンも設定してください。

P4のスケジュール設定例

お知らせ

翌日にまたがる禁止設定をしたい場合は、最上段のキンシ部に「00：00」を設定してください。
左記設定例では、前日の20：00～翌日の8：00まで操作禁止状態となります。但し、両日ともP4またはP4を組み合わせたP1～P3を設定する必要があります。

(4) セットバック値、設定温度の設定方法

●初期設定モードのユーザー設定画面で、"2　スケジュール　セットバック" の "セットバック" または "オンド" を選択した場合のみ設定できます。(ユーザー設定画面の設定方法は「5-6　ユーザー設定 (P31)」をご覧ください。)

①セットバック運転

●基準温度に対してセットバック値分だけ設定温度を変化させ、省エネ運転を行ないます。

(例) 基準温度24℃、セットバック値2℃とした場合

冷房運転時の設定温度………………24℃+2℃=26℃

暖房運転時の設定温度………………24℃-2℃=22℃　となります。

●セットバック運転のパターン設定方法

(a)カーソル移動ボタン(↑)(↓)(←)(→)を押して、設定したい箇所(基準温度、セットバック値、ON時刻、OFF時刻)を選択します。

(b)日時等設定ボタン(5▲)(8▼)を押して、各項目を設定します。

基準温度設定可能範囲　　　：19℃～28℃

セットバック値設定可能範囲：0℃～9℃

②温度設定運転

●運転モードには関係なく、設定した温度で運転を行ないます。

●温度設定運転のパターン設定方法

(a)カーソル移動ボタン(↑)(↓)(←)(→)を押して、設定したい箇所(設定温度、ON時刻、OFF時刻)を選択します。

(b)日時等設定ボタン(5▲)(8▼)を押して、各項目を設定します。

温度の設定可能範囲：19℃～28℃

お知らせ

●セットバック運転、温度設定運転のいずれの場合も、スケジュール運転のON時刻に設定温度への切換を行ないます。

●運転開始後、本機または手元リモコン等からの設定温度変更は可能です。

(5) 週間スケジュールの設定

●スケジュールパターンの運転/停止パターンP1～P3、手元リモコンへの操作禁止パターンP4、パターンP1～P3とP4を組み合わせたP1～P3、及びパターン非選択（ー）を曜日ごとに設定します。

①[◀グループ選択▶]ボタンを押し、週間パターン設定を行ないたいグループを選択表示します。

②カーソル移動ボタン[↑][↓][←][→]を押し、設定したい曜日のパターン設定部にカーソルを移動させます。

③日時等設定ボタン[5▲][8▼]を押して、設定したいパターンを表示させます。

ー　：この日はスケジュール運転を行ないません。
1～3　：下部のP1～P3が示すON/OFFパターンで運転します。
　●太い線で示す部分が「運転」となります。
　●“＊”印は停止のみ設定された場合に表示します。
1～3（反転表示）：下部のP1～P3が示すON/OFFパターン及びP4で示す禁止/許可パターンで運転します。
　●P4は太い線で示す部分が「禁止」（項目全て）となります。
4（反転表示）：下部のP4が示す禁止/許可パターンで運転します。

④上記②、③を繰り返し全ての曜日にパターンを設定します。

⑤上記①～④を繰り返し、スケジュール運転を行なう全てのグループに設定します。
1つのグループで設定したスケジュールパターンを他のグループへコピーすることができますので、容易に修正が可能です。
詳細は、「(6) スケジュール設定内容のコピー（P20)」を参照してください。

(6) スケジュール設定内容のコピー

●あるグループのスケジュールパターン（P1～P3、P4）、週間パターン、セットバック値または設定温度をコピーし、他のグループへ貼り付けることができます。また貼り付け後、設定内容を修正することができますので、グループごとのスケジュールパターン設定を簡易化できます。

①メニュー画面で（風速切換 3）ボタンを押して、週間スケジュール設定画面を表示させせます。

②（◀グループ選択▶）ボタンを押して、コピー元のグループを表示させせます。

●コピーする内容は一週間のスケジュールパターンとP1～P3のON/OFFパターン、及びP4の禁止/許可パターンです。

③カーソル移動ボタン（↑）（↓）（←）（→）を押して、ファンクションエリア内の“M”を選択します（点滅させます）。

④（確定 ↵）ボタンを押して、コピー元のグループの設定内容を記憶させせます。

●設定内容を記憶しているグループは“M”が白黒反転表示となります。

⑤（◀グループ選択▶）ボタンを押して、コピー先のグループを表示させせます。

⑥カーソル移動ボタン（↑）（↓）（←）（→）を押して、ファンクションエリア内の“MR”を選択します（点滅させます）。

⑦（確定 ↵）ボタンを押すと、②で記憶させた内容を表示中のグループにコピーします。

⑧上記⑤～⑦を繰り返し、コピー元と同様な設定を行なうすべてのグループに、設定内容をコピーします。

⑨必要に応じ、コピー貼り付けしたグループのスケジュールパターン内容を前述の（3）、（4）、（5）項を参照し、修正してください。

4-4 異常が発生した場合

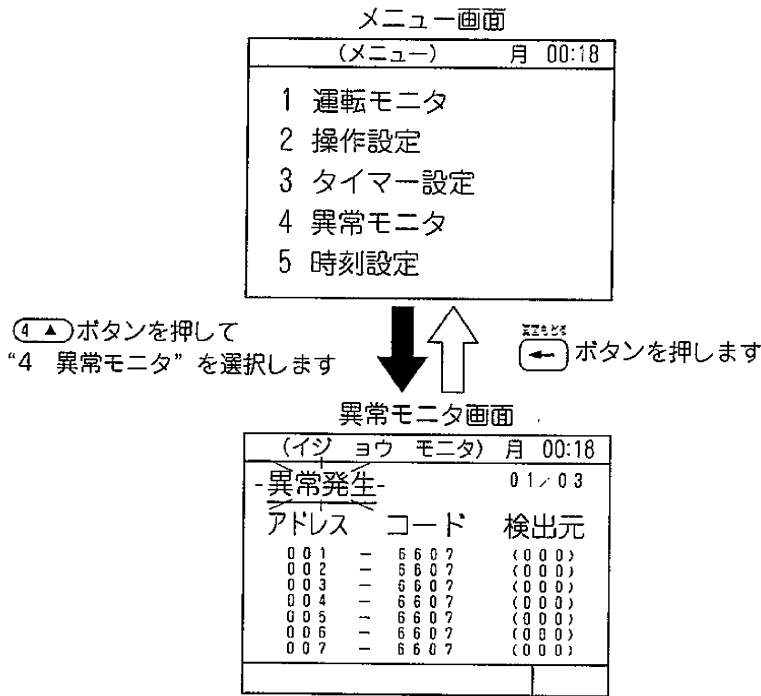
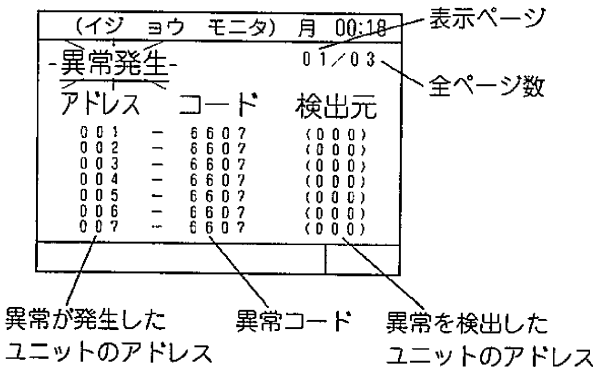
●運転モニタ画面などで異常が表示された場合、異常の詳細を確認するため、異常モニタ機能を使用します。
●異常発生中のユニットアドレスと異常コード、および異常を検出したユニットアドレスを表示します。
アドレス番号順に7個の異常を1ページとして表示します。
●異常発生中のユニットアドレス、および異常コードを確認の上、お買い上げいただいた販売店もしくはお近くのサービスセンターへお問い合せください。

(1) 異常モニタ画面への移り方

メニュー画面

(4 ▲)ボタンを押して
“4　異常モニタ” を選択します

(←)ボタンを押します

異常モニタ画面

(2) 表示と操作

異常モニタ
●(↑)、(→)ボタン：表示ページを＋1します。
●(↓)、(←)ボタン：表示ページを－1します。

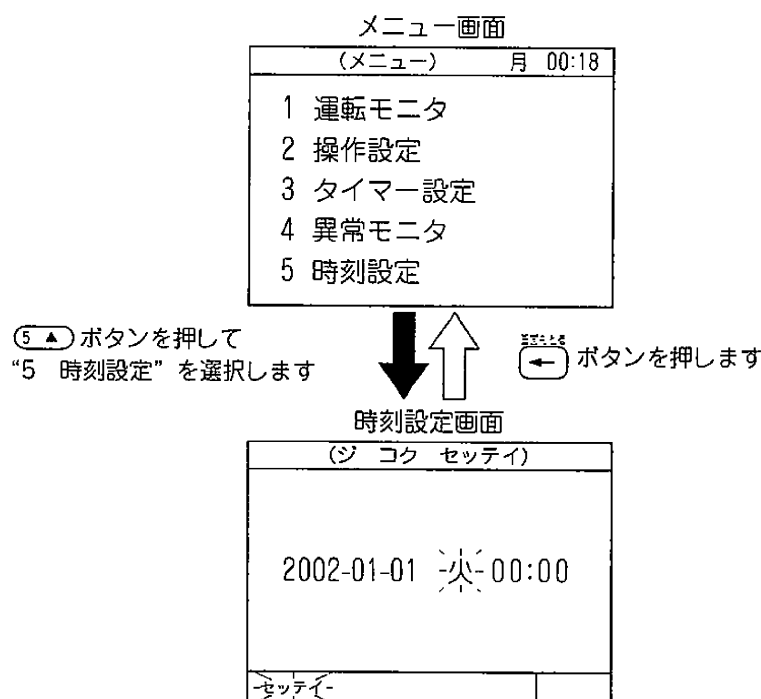
異常リセット操作
●(異常・フィルターリセット)を押すと、全ての異常発生ユニットを停止させ、異常を解除します。

お知らせ　本機が操作禁止を設定されている場合、異常リセット操作はできません。
この場合、他のシステムコントローラあるいは、外部入力から停止入力を行なうことにより異常をリセットできます。

4-5 現在時刻の設定

●スケジュール運転を行なう場合は、必ず現在時刻の設定を行なってください。

お知らせ	空調機の課金機能を使用している場合、本機の時刻設定画面は使用できません。 この場合、時刻設定メニューはメニュー画面から削除され表示されません。 現在時刻の設定は集中監視（統合ソフト）パソコン側から設定します。

(1) 時刻設定画面への移り方

(2) 設定方法

①カーソル移動ボタン(←)，(→)を押して、設定したい項目にカーソルを移動させます。

②日時等設定ボタン(5 ▲)，(8 ▼)を押して、年・月・日・曜日・時・分の全ての項目を合わせます。

●このモードでは、最初に表示した時刻から表示は変化しません。
（但し、時刻のカウントは行なっています。）

---

③(↵)ボタンを押すと、確定します。（確定すると、画面上に"確定しました"が2秒間点滅します。）

●(↵)ボタンを押さないと、現在時刻は設定されません。
（押された時点から、表示している時刻でカウントを始めます。）

5. 初期設定

5-1　初期設定メニューへの移行操作

●通常モードメニュー画面で、カーソル移動ボタン(↑)(↓)を同時に2秒間連続押ししますと初期設定モードメニュー画面に移行します。
逆に、初期設定モードメニュー画面でカーソル移動ボタン(↑)(↓)を同時に2秒間連続押ししますと、通常モードメニュー画面に移行します。

●初期設定モードメニュー画面はグループ情報を保持しているとき、保持していないときで画面構成が異なります。

初期設定モードメニュー画面

〈グループ情報を保持していない時〉

〈グループ情報を保持している時〉

※(確定)ボタンを押すたびに、メニュー1～5画面、メニュー6～8画面が切換ります

5-2　M-NETアドレス設定

①(1)ボタンを押し、"1. アドレス　セッテイ" を選択します。
（または(6)ボタンを押し、"6. アドレス　セッテイ"を選択します。）

②(0)～(9)のボタンを押し、本機のアドレスを入力設定します。
●アドレスの設定範囲は「000」または「201」～「250」です。
●K伝送コンバータを使用し、K制御機種を管理する場合は、本機のアドレスは必ず「000」に設定してください。

③設定後、(戻る)ボタンを押すと、画面が戻ります。

お願い

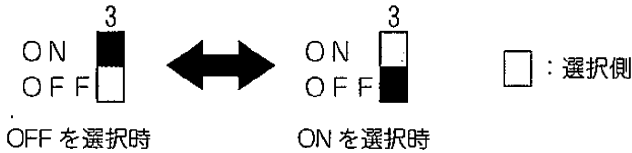
K伝送コンバータ（形名：PAC-SC25KA）を使用し、K制御機種を管理する場合は以下の点に注意してください。
詳しくは、K伝送コンバータの据付説明書をご覧ください。
①本機のアドレスは必ず「000」に設定してください。
②本機の機能設定のNo. 3は、必ずON設定（K伝送コンバータ接続あり）としてください。
ON設定としますと、アドレス入力欄が表示されますので、K伝送コンバータのアドレスを入力してください。
③K制御機種の室内ユニットアドレスは、M伝送機種の室内ユニットアドレスよりも大きくなるように設定してください。
④K制御機種のグループ設定は、グループ番号とそのグループに属する室内ユニットの最小アドレスが同じになるよう設定してください。

5-3　本機の機能設定

●機能設定画面にて、本機の機能を設定します。
●出荷時の設定は全て「OFF」に設定してあります。

①(2)ボタンを押し、“2. キノウ　セッテイ”を選択します。
（または(7▼)ボタンを押し、“7. キノウ　セッテイ”を選択します。）
②変更したい機能No.と同一番号の(1)～(8▼)ボタンを押し、機能を切り換えます。
押すたびに、そのNo.のON/OFF状態が切替ります。（No.1、No.2は変更できません。）

〈操作例〉

1）(3)ボタンを押した場合

③機能切換が終了した場合、(←)ボタンを押すと、画面が戻ります。

〈機能設定内容〉

No. 1 ── 予備（OFF固定）
2 ── 予備（OFF固定）
3 ── OFF：K伝送コンバータ接続なし　　ON：K伝送コンバータ接続あり
4 ── OFF：本機からの手元禁止設定可　　ON：本機からの手元禁止設定不可
5 ── OFF固定（OFF設定で使用ください）
6 ┐ 外部入力モード切換
7 ┘（設定方法の詳細は、「7-1　外部入力機能（P37）」をご覧ください）
8 ── OFF：手元操作禁止設定時、手元リモコン＋他のシステムコントローラも操作禁止　　ON：手元操作禁止設定時、手元リモコンのみを操作禁止

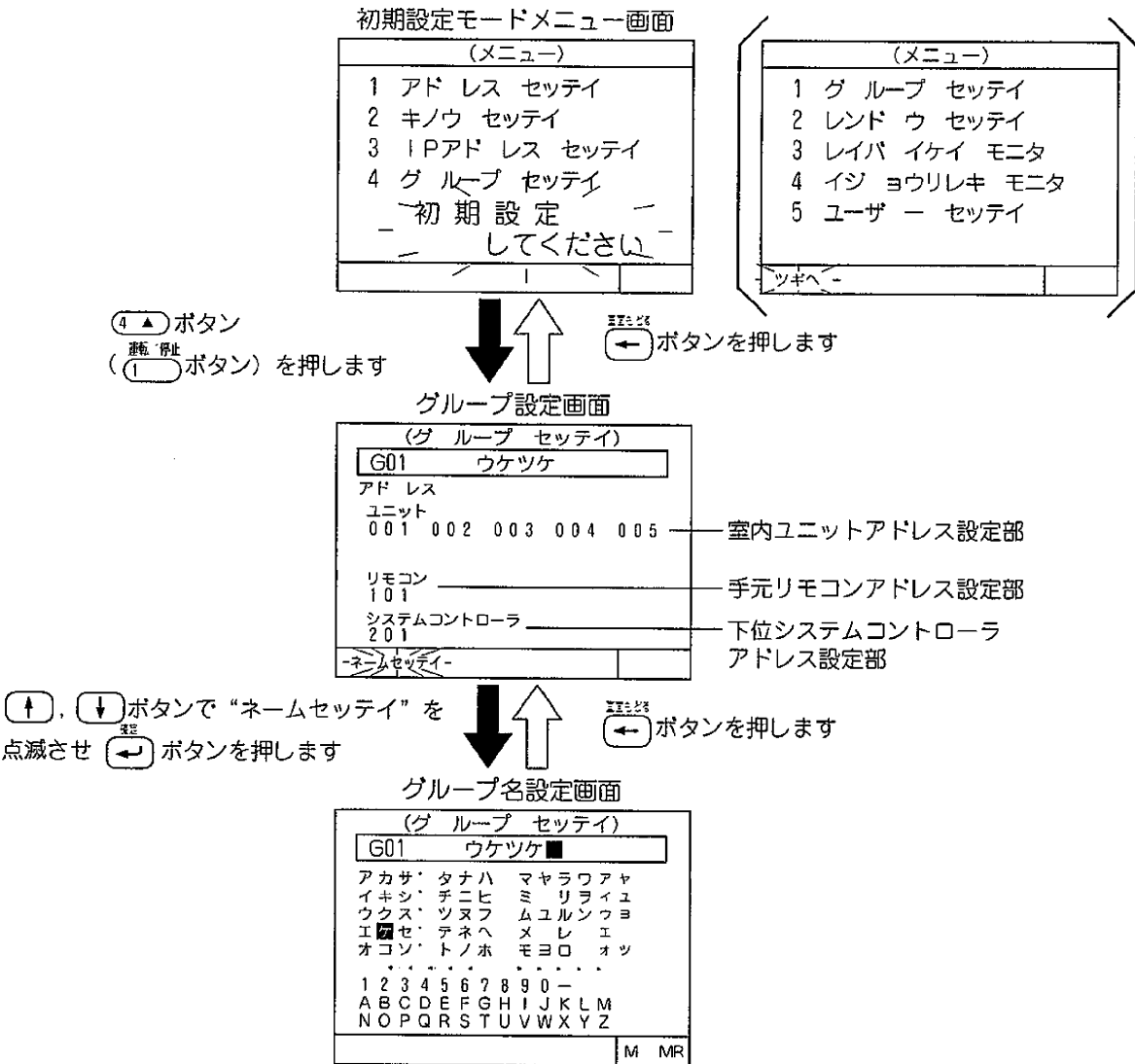
※No.3をONに設定しますと、アドレス入力欄が表示されますので、(0)～(9)のボタンを押しK伝送コンバータのアドレスを入力してください。K伝送コンバータのアドレスは、本機が管理するK制御室内ユニットの最小アドレス＋200です。

5-4 グループ設定

●本機で管理する空調機の室内ユニット、手元リモコン、下位システムコントローラのグループ設定を行ないます。

●ロスナイ、ロスナイリモコンのみのグループ設定も行なえます。

お願い	同一のグループに室内ユニットとロスナイをグループ設定することは出来ません。設定しますとシステムが正常に動作しません。（ロスナイを室内ユニットと連動運転させたい場合は「5-5 連動設定（P29）」を実施してください。）

（1）グループ設定画面への移り方

お願い	グループ内に手元リモコン、下位システムコントローラを接続する場合、必ずこれらのアドレスもグループ設定してください。 <u>設定しないと、本機より操作禁止設定をしても手元リモコンの操作が禁止にならないなど、機能が正常に動作しません。</u> ただし、接続される手元リモコンがMAスムースリモコン（PAR-24MA）、あるいはK制御リモコンの場合はグループ設定不要です。

(2) グループ設定方法

①初期設定モードのメニュー画面で"1　グループ　セッテイ"を選択します。

（メニュー）
1　グ　ループ　セッテイ
2　レンド　ウ　セッテイ

(a)初期設定のメニュー画面で（4▲）ボタン（運転停止（1）ボタン）を押し、グループ設定画面を表示させます。

②設定したいグループを選択します。

(a)（◀グループ選択▶）ボタンを押して設定するグループを表示させます。

③室内ユニットのアドレスを入力します。

(a)カーソル移動ボタン（↑）,（↓）を押してカーソルを室内ユニットアドレス設定部に移動させます。

(b)室内ユニットのアドレスを入力します。(「001」～「050」)
（操作例）アドレス「012」を入力する。

1)（0）ボタンを押す ………… 0
2)（1）ボタンを押す ………… 01
3)（2）ボタンを押す ………… 012
4)（確定↵）ボタンまたは
（↑）（↓）（←）（→）ボタンのいずれかを押す ………… 012

（間違えて入力した場合）
（確定↵）ボタンを押す前なら、正しいアドレスをそのまま続けて入力してください。

(c)アドレスの削除方法

カーソル移動ボタン（↑）（↓）（←）（→）で削除したいアドレスにカーソルを移動させ（異常・フィルターリセット（削除））ボタンを押します。

お知らせ　室内ユニット、またはグループ設定するロスナイは、1グループに16台まで入力できます。

お願い　室内ユニットとロスナイのアドレスを、同一グループ内に入力しないでください。
K制御室内ユニットのグループ番号は、同一グループ内の最小K制御室内ユニットのアドレスにしてください。

④手元リモコンのアドレスを入力します。

(a)カーソル移動ボタン（↑）,（↓）を押してカーソルを手元リモコンアドレス設定部に移動させます。

(b)手元リモコンのアドレスを入力し、確定します。
(「101」～「200」)
●手元リモコンは1グループに2台まで設定できます。

お知らせ　グループ内に手元リモコン（M-NETリモコン）がない場合はアドレスを入力しません。
また、K制御室内ユニットの手元リモコンは、アドレスを入力しません。

⑤下位システムコントローラのアドレスを入力します。

(a)カーソル移動ボタン(↑), (↓)を押し、カーソルを下位システムコントローラのアドレス設定部に移動させます。

(b)下位システムコントローラのアドレスを入力し、確定します。
(「201」~「250」)
●下位システムコントローラは1グループに最大4台まで設定できます。但し、手元リモコンとの合計が4台までなので、手元リモコンが2台設定してある場合、下位システムコントローラは2台まで設定できます。

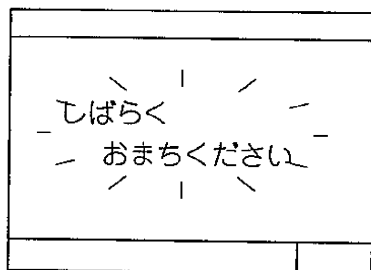
(c)下位システムコントローラのアドレスは、その下位システムコントローラに管理させる全てのグループに入力してください。
下位システムコントローラのアドレスのみ、複数のグループに重複して入力できます。

お知らせ グループ内に下位システムコントローラがない場合はアドレスを入力しません。

お願い システム内に、K伝送コンバータ(PAC-SC25KA)がある場合、K伝送コンバータのアドレスは入力しないでください。

⑥前記②~⑤を繰り返して、全てのグループ設定を行ないます。

⑦(←)ボタンを押すと、初期設定のメニュー画面に移ります。
必要に応じ、その他の初期設定メニュー2~8の設定またはモニタを実施してください。

⑧初期設定メニューの全ての設定が終了しましたら、初期設定メニュー画面でカーソル移動ボタン(↑)(↓)を同時に2秒以上押しますと以下の画面に切換り、初期設定情報の書込み処理、およびシステムの立上げ通信処理を行ないます。(約5~7分かかります)

立上げが終了しますと、通常モードメニュー画面が表示されます。

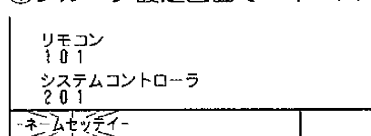
〈設定内容の一括抹消〉

●グループ設定、連動設定の内容を全て一括で抹消します。
①グループ設定画面で(◀グループ選択▶)ボタンを押し“G00 イッカツ マッショウ”を表示させます。

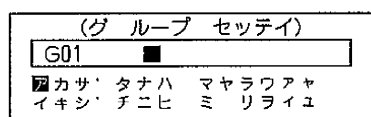
②(画面)ボタンを2度押しすると、画面上に“削除しました”と表示が出て、グループ設定、連動設定の内容が全て抹消されます。(一括抹消はグループ設定画面でのみ有効です。)

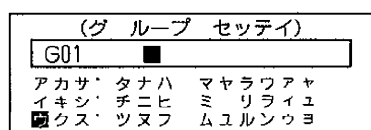
(3) グループ名設定方法

●グループ名を設定します。文字はカナ、アルファベット、数字、ー、ブランクを使用します。
●濁音、半濁音は2文字扱いで、最大10文字まで設定できます。
●運転モニタ画面でグループ名表示させるときに、ここで設定したグループ名の頭3文字が表示されます。

①グループ設定画面で"ネームセッテイ"を選択します。

(a)グループ設定画面で、カーソル移動ボタン(↑), (↓)を押し、"ネームセッテイ"にカーソルを移動させます。

(b)(↵)ボタンを押すと、グループ名設定画面に移行します。

②設定したいグループを選択します。

(a)(◀グループ選択▶)ボタンを押して、設定するグループを表示させます。

③入力したい文字を選択します。(1文字)

(a)カーソル移動ボタン(↑)(↓)(←)(→)を押して、カーソルを入力したい文字の位置へ移動させます。

④選択した文字を確定します。

(a)(↵)ボタンを押して、選択した文字を確定させます。
(b)確定した文字は、グループ名表示部に現れます。
- "←"を確定すると、グループ名表示部のカーソルが左に移動します。
- "→"を確定すると、グループ名表示部のカーソルが右に移動します。
- 文字が何もない位置で確定すると、1文字分スペースが空きます。

(c)確定した文字の削除
- "←"、"→"を確定して、グループ名表示部のカーソルを削除したい文字の位置に移動させます。
- (異常・フィルターリセット 個別)ボタンを押すと、カーソル部分の文字が削除されます。

(d)すでに確定した文字の間に文字を追加する。
- "←"、"→"を確定して、グループ名表示部のカーソルを追加したい位置に移動させます。
- (換気切換 9)ボタンを押すとカーソル部分から右の文字(カーソル部分を含む)が1文字分右に移動します。

⑤上記③、④を繰り返してグループ名を入力します。

⑥全てのグループにグループ名を入力したら、(←)ボタンを押してグループ設定画面に戻します。

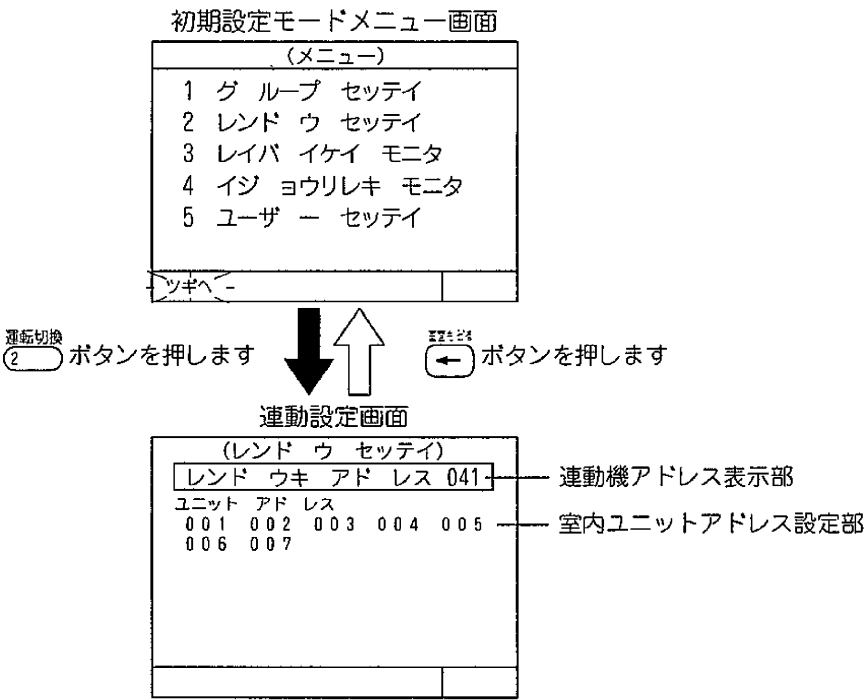
グループ名のコピー

●似たグループ名がある場合は、すでに入力してあるグループ名をコピーすることができます。
(a)コピー元のグループを表示させます。
(b)ファンクションエリアの"M"をカーソルで選択し、(↵)ボタンを押すと、グループ名を記憶します。
(c)コピー先のグループを表示させます。
(d)ファンクションエリアの"MR"をカーソルで選択し、(↵)ボタンを押すと記憶した内容を表示します。
(e)上記③、④の操作でグループ名を修正します。

5-5　連動設定

●単一または複数の室内ユニットとロスナイを連動運転させたい場合、連動設定を行ないます。

お知らせ	グループ設定で登録しましたロスナイでも室内ユニットと連動設定をすることができます。 ただし、外気処理ユニット（加熱加湿付ロスナイ）は、室内ユニットと連動設定できません。

(1) 連動設定画面への移り方

(2) 連動設定方法

①初期設定モードのメニュー画面で "3　レンドウ　セッテイ" を選択します。

(メニュー)
1 グ ループ　セッテイ
2 レンド ウ　セッテイ
3 レイバ　イケイ　モニタ

(a)初期設定のメニュー画面で [運転切換 2] ボタンを押し、連動設定画面を表示させます。

---

②設定したいグループを選択します。

(レンド　ウ　セッテイ)
レンド　ウキ　アド　レス 041
ユニット　アド　レス

(a)[◄グループ選択►]ボタンを押して、設定する連動機（ロスナイ）のアドレスを表示させます。

---

③室内ユニットのアドレスを入力します。

連動元ユニットアドレス

(a)室内ユニットのアドレスを入力します。(「001」～「050」)
(操作例) アドレス「012」を入力する。

1) [0] ボタンを押す ……………… 0
2) [1] ボタンを押す ……………… 01
3) [2] ボタンを押す ……………… 012
4) [確定 ←] ボタンまたは
[↑][↓][←][→] ボタンのいずれかを押す ………… 012

(間違えて入力した場合)
[確定 ←] ボタンを押す前なら、そのまま続けて入力してください。

(b)アドレスの削除方法

カーソル移動ボタン[↑][↓][←][→]で削除したいアドレスにカーソルを移動させ、[異常・フィルターリセット 削除] ボタンを押します。

お知らせ	●1台の連動機に、室内ユニットは16台まで入力できます。 ●1台の室内ユニットに、複数の連動機を連動設定することはできません。(1台のみ設定可能。)

---

④上記②、③を繰り返して、全ての連動機に室内ユニットを連動設定します。

---

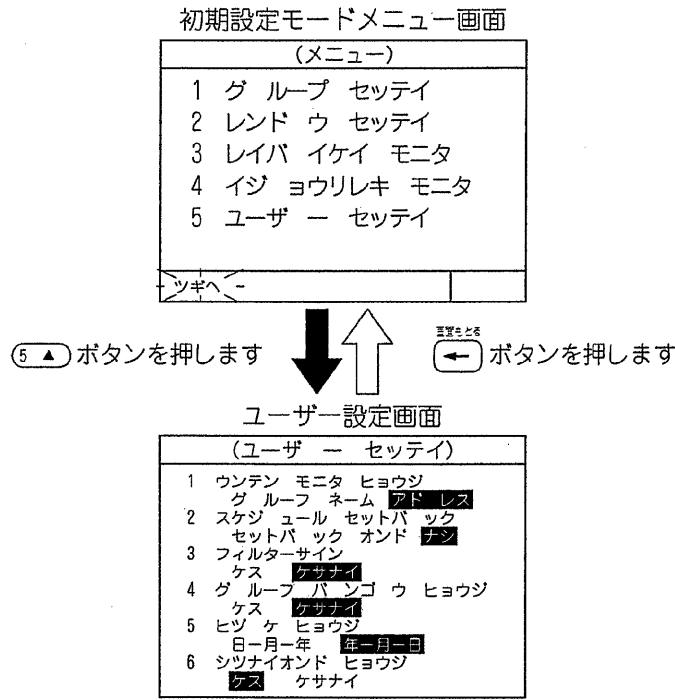
⑤[←] ボタンを押すと、初期設定のメニュー画面に移ります。
必要に応じ、その他の初期設定メニューの設定またはモニタを実施してください。

⑥初期設定メニューの全ての設定が終了しましたら、初期設定メニュー画面でカーソル移動ボタン[↑][↓]を同時に2秒以上押しますと画面が切換り、初期設定情報の書込み処理、およびシステムの立上げ通信処理を行ないます。(約5～7分かかります)
立上げが終了しますと、通常モードメニュー画面が表示されます。

お願い	グループ設定されていない室内ユニットを連動元ユニットとして設定することはできません。 必ず、連動元とする室内ユニットをグループ設定してから、連動設定を行なうようにしてください。

5-6　ユーザー設定

●通常の操作で使用する画面の表示内容を使用方法に合わせて変更できます。

(1) ユーザー設定画面への移り方

お知らせ

出荷時の設定は次のようになっています。

1. 運転モニタ表示　　　　　：グループ番号表示
2. スケジュールセットバック：無し
3. フィルターサイン　　　　：消さない
4. グループ番号表示　　　　：消さない
5. 日付表示　　　　　　　　：年ー月ー日
6. 室内温度表示　　　　　　：消す

(2) ユーザー設定の内容

●ユーザー設定画面で選択できるのは次の内容です。

1　ウンテン　モニタ　ヒョウジ：運転モニタ画面の表示方法

グループ	グループ番号表示とする。	＊運転モニタ画面の表示内容詳細は、「4-1　運転状態モニタ方法(1)操作方法（P7)」をご覧ください。
ネーム	グループ名表示とする。	
アドレス	ユニットアドレス表示とする。	

2　スケジュール　セットバック：スケジュール運転の温度設定機能

セットバック	セットバック運転を行ないます。	＊セットバック運転・温度設定運転の詳細は、「4-3　タイマー運転（タイマー設定画面）(4)セットバック値、温度設定の設定方法(P18)」をご覧ください。
オンド	温度設定運転を行ないます。	
ナシ	スケジュール運転での温度設定はありません。	

3　フィルターサイン　　　　：フィルターサインの表示

ケス	フィルターサインの点灯は行なわず、フィルターサインのリセットも行なえません。	手元リモコンでのみフィルター清掃の管理を行なう場合に使用します。
ケサナイ	ユニットのフィルター清掃時期がくると操作設定画面に“フィルター”を表示してお知らせします。	――――――

4　グループ　バンゴウ　ヒョウジ　：グループ番号の表示

ケス	操作設定画面・スケジュール設定画面でのグループ番号表示を行ないません。	通常モードでのグループの区別を、グループ名のみで行なう場合に使用します。
ケサナイ	通常モードでグループ番号の表示を行ないます。	――――――

5　ヒヅケ　ヒョウジ　　　　：日付の表示方法

日ー月ー年	現在時刻の設定画面・異常履歴モニタ画面で、年月日表示の順番が日ー月ー年となります。
年ー月ー日	現在時刻の設定画面・異常履歴モニタ画面で、年月日表示の順番が年ー月ー日となります。

6　シツナイオンド　ヒョウジ　：室内温度の表示

ケス	操作設定画面で各グループの室内温度表示を行ないません。
ケサナイ	操作設定画面で各グループの室内温度表示を行ないます。

(3) ユーザー設定画面での設定方法

①初期設定モードのメニュー画面で(5 ▲)ボタンを押し、ユーザー設定を選択します。

②項目（1～6）を選択し、内容を設定します。

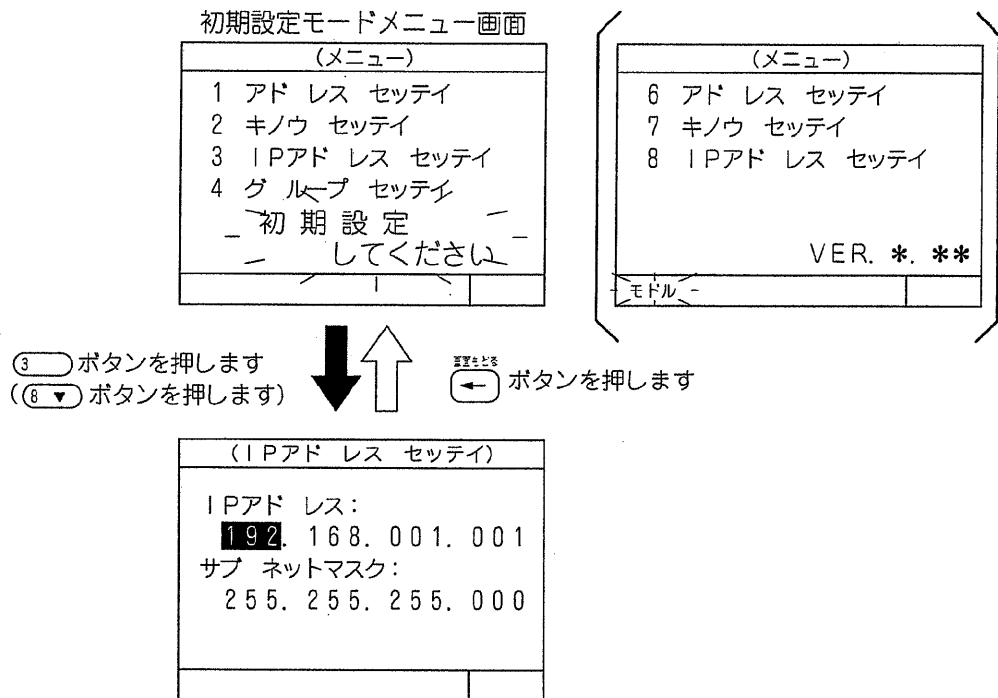
(a)カーソル移動ボタン(↑)，(↓)を押してカーソル（点滅表示）を設定したい項目に移動させます。

(b)カーソル移動ボタン(←)，(→)を押して、その項目で設定する内容を選択します。

③(←)ボタンを押すと、初期設定のメニュー画面に移ります。

5-7 IPアドレス設定

●本機をLANに接続する場合、IPアドレスとマスクアドレスの設定を行ないます。

(1) IPアドレス設定画面への移り方

(2) IPアドレス設定画面での設定方法

①(3)ボタンを押し、"3　IPアドレス　セッテイ"を選択します。
(または(8▼)ボタンを押し、"8　IPアドレス　セッテイ"を選択します。)

②カーソル移動ボタン(←)(→)(↑)(↓)を押して、変更するアドレス設定の位置にカーソルを合わせます。

③(0)～(9 挿入)の数字ボタンを押して、アドレスを設定します。

④(←)ボタンを押すと、初期設定のメニュー画面に移ります。

5-8　初期設定ツールの接続について

お知らせ　初期設定Webで、初期設定ツールと同じ設定ができます。
初期設定Webの機能や操作方法については、本機の取扱説明書（初期設定用Webブラウザ操作編）を参照ください。

●LAN経由で初期設定ツールパソコンを本機に接続し、初期設定ツールパソコンで設定した情報を本機にダウンロードすることができます。
●初期設定ツールでは本機で必要となるグループ設定、連動設定、ユーザー設定などの初期設定情報をパソコン上で設定しますので、本機で初期設定を行なうよりも、容易に初期設定を実施することができます。
初期設定ツールの機能や操作方法については、初期設定ツールの取扱説明書を参照ください。

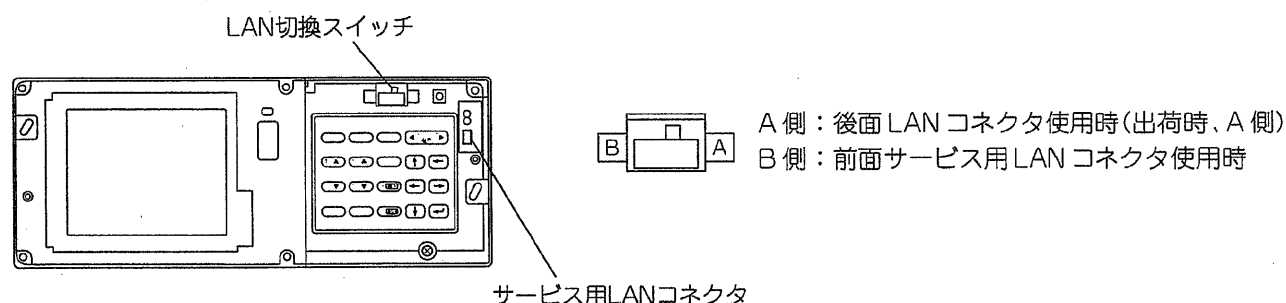
お知らせ　初期設定ツールの取扱いは、弊販売会社、代理店、サービス会社に限定させていただいており、設定に際しては、弊社販売会社・代理店へご依頼願います。

(1) 初期設定ツールの接続方法

①本機のカバーネジを外し、本体下部の隙間（2箇所）にマイナスドライバを差し込み、ひねるとカバーは本体からはずれます。

②サービス用LANコネクタに専用のLANケーブル（別売）を接続し、本機と初期設定ツールを接続します。

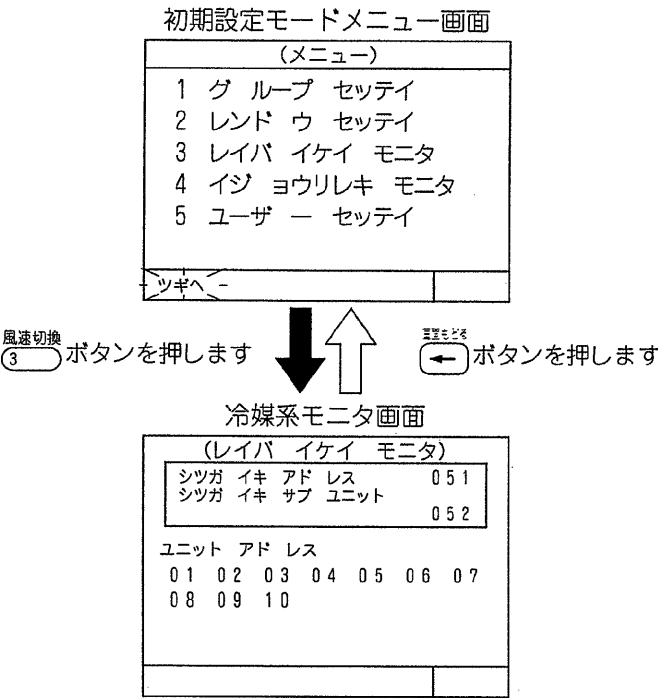
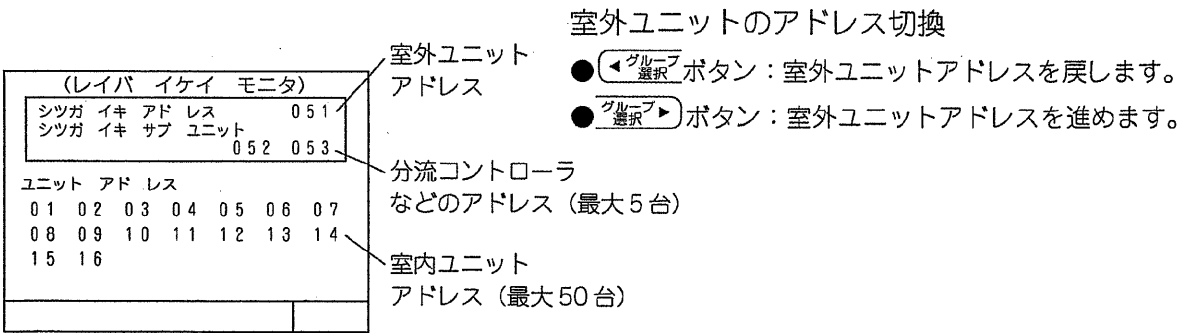
③LAN切換スイッチをB側（前面LANコネクタ使用）に変更します。

④初期設定ツールの取扱説明書を参考にして、初期設定ツールにて設定を実施します。
設定完了後、必ずLAN切換スイッチを元のA側（後面LANコネクタ使用）に戻してください。

お知らせ　サービス用LANコネクタを利用する場合、別売サービス部品の専用LANケーブル（PAC-YG00FA）が必要です。

6. 立上げ時・サービス時のモニタ機能

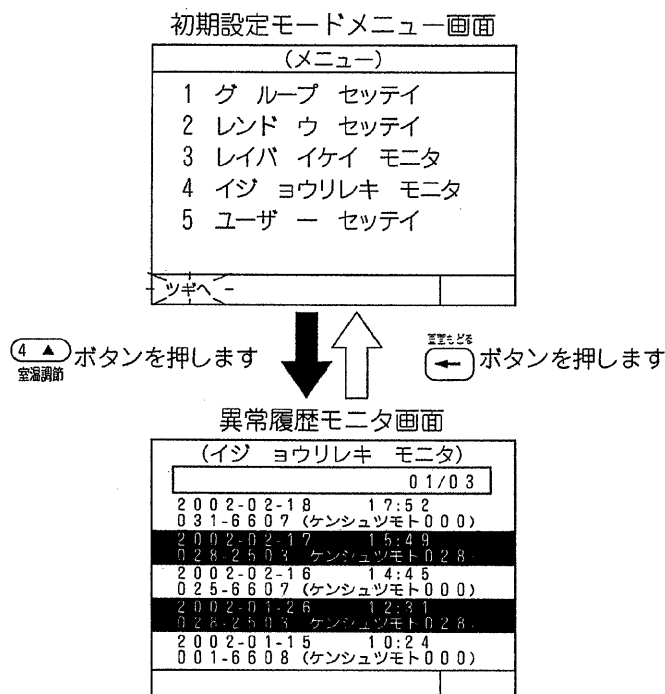
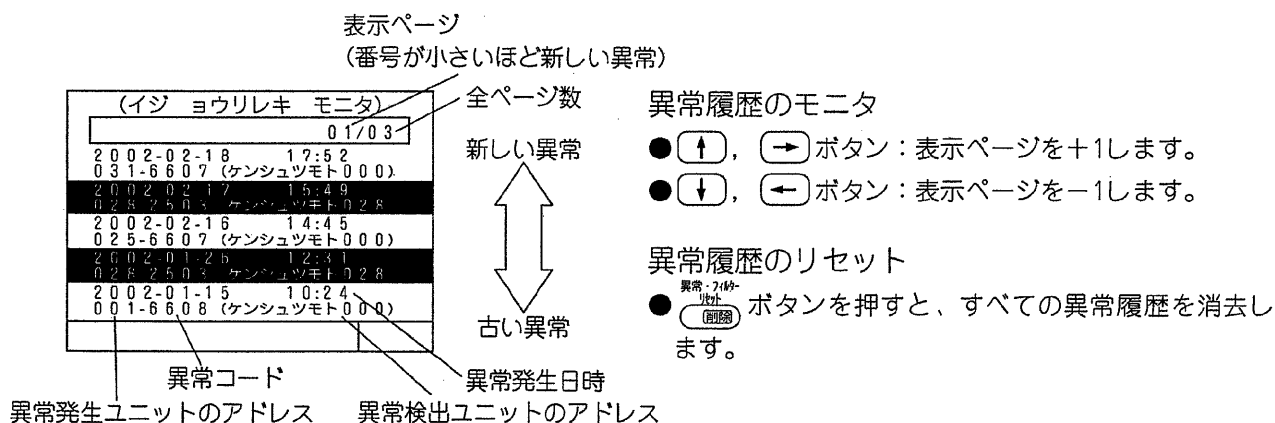
6-1　冷媒系の接続状態モニタ

●室外ユニットの端子台TB3の室内外M伝送線に接続されている室内ユニット、分流コントローラなどのアドレスを室外ユニット毎に表示します。

(1) 冷媒系モニタ画面への移り方

(2) 表示と操作方法

お知らせ	室外ユニット、室内ユニット、室外補助ユニットのシステム変更をした場合、冷媒系の接続状態を正しく表示しないケースがありますので、本機を電源リセットしてください。

6-2 異常履歴のモニタ

●過去に発生した異常を64個までメモリに記憶します。（異常が64個以上発生した場合、古い異常から消していきます。）
●異常の発生年月日と時刻、異常発生ユニットのアドレス、異常コード及び異常を検出したユニットのアドレスが表示されます。
●この情報は電源を切っても消えません。異常履歴リセット操作により消えます。
●サービス終了時、異常履歴リセット操作をしておきますと、次回サービス時までの間に発生した異常内容がわかります。

(1) 異常履歴モニタ画面への移り方

(2) 表示と操作方法

7. 外部入出力機能

●外部入出力端子を使用して、遠方からの運転/停止操作と運転状態モニタ、異常モニタなどができます。
●外部入出力機能を使用する場合、別売の外部入出力アダプター（PAC-YG10HA）が必要です。

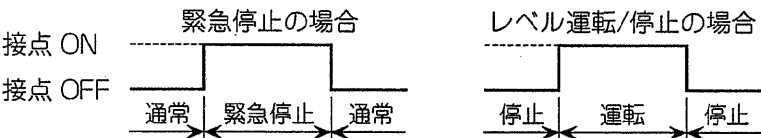
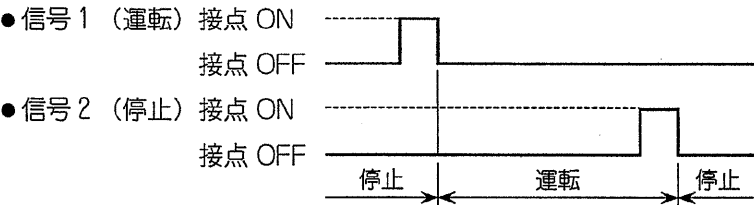
7-1　外部入力機能

(1) 外部入力の機能設定

●機能設定のNo.6とNo.7のON/OFF設定により、外部入力機能を選択します。
機能設定の設定方法は「5-3　本機の機能設定（P24）」を参照してください。

	機能設定		機　能	備　考
	No.6	No.7		
1	OFF	OFF	外部入力無し	外部入力は使用不可。（信号を入れても動作しません。）
2	OFF	ON	緊急停止	レベル信号を入力中は、全ユニットを停止・手元操作禁止とする。（火報からの信号で空調機を止める場合に使用します。）
3	ON	OFF	レベル　運転／停止	レベル信号で、全ユニットの運転／停止を行なう。（このモードの最中は、常に本機及び手元の運転／停止操作が禁止となります。）
4	ON	ON	パルス　運転／停止、禁止／許可	パルス信号で、全ユニットの運転／停止、手元操作禁止／許可を行なう。

(2) 入力信号

①レベル信号

②パルス信号
（例）運転/停止の場合

＊パルス幅は0.5～1秒の範囲内としてください。
＊禁止/許可の入力も同様です。

(3) 外部入力端子の接続方法

CN2	リード線色	緊急停止	レベル　運転/停止	パルス　運転/停止、禁止/許可
5番	橙	緊急停止/通常入力	レベル運転/停止入力	パルス運転入力
6番	黄	未使用	未使用	パルス停止入力
7番	青	未使用	未使用	パルス手元操作禁止入力
8番	灰	未使用	未使用	パルス手元操作許可入力
9番	赤	外部DC電源　＋12Vまたは＋24V入力		

お知らせ

●レベル信号の場合
●緊急停止の接点ON中は、本機および手元リモコンの操作（運転/停止のみ）が禁止となります。緊急停止解除後、空調機は停止状態のままとなりますので、運転したい場合は、手動で運転操作する必要があります。
●レベルの運転/停止を使用中は常に本機および手元リモコンの操作（運転/停止のみ）が禁止となります。
●パルス信号の場合
●運転中に運転信号を入れても運転のままです。（停止、禁止、許可の場合も同様。）
●パルス信号で手元操作禁止とした場合、運転/停止、運転モード、設定温度、フィルターリセットが禁止となります。

7-2　外部出力機能

(1) 外部出力の機能

①運転/停止状態出力：1台以上の空調機が運転している場合に、"運転"（接点ON）信号を出力します。
②異常/正常状態出力：1台以上のコントローラに異常が発生している場合"異常"（接点ON）信号を出力します。

(2) 外部出力端子の接続方法

CN2	リード線色	機能意味付け
1番	緑	外部出力共通GND（外部DC電源GND）
2番	黒	運転/停止状態出力
3番	茶	異常/正常状態出力

8. 仕　様

項　　目	内　　容
電　　源	DC24, 30V（伝送線用給電ユニット（PAC-SC50KU）または室外ユニットから給電）
消 費 電 流	0.2A
使用環境条件	温度0～40℃、湿度30～90%（結露なきこと）
質　　量	1.0 kg
外形寸法(H×W×D)mm	120×300×79（22）　（ ）は据付時の壁面からの厚さ

●R410A対応ビル空調マルチエアコン室外ユニット（シティマルチSを除く）の場合、室外ユニットからの給電も可能です。
但し、接続した室外ユニットの電源を切ると、その間のスケジュール運転、課金情報の収集が実施できません。
詳細はシステム設計マニュアルをご覧ください。

●システムコントローラ接続台数が接続可能台数を超える場合は、伝送線用給電ユニット（形名：PAC-SC50KU）または室外ユニットからの給電の他に、伝送線用給電拡張ユニット（形名：PAC-SF46EP）の追加が必要です。
詳細はシステム設計マニュアルをご覧ください。

MITSUBISHI

三菱電機 ビル 空調管理システム

集中コントローラ
G-50
取扱説明書（Webブラウザ操作編（管理者用））

もくじ

ページ

1 はじめに ……1
 1-1 本書の表記について ……1
 1-2 動作環境 ……1
2 パソコンの環境設定 ……2
 2-1 パソコンのIPアドレスを設定する ……2
 2-2 Webブラウザを設定する ……4
  2-2-1 インターネット接続環境の無い場合…4
  2-2-2 ダイヤルアップ接続環境がある場合…4
  2-2-3 プロキシサーバー経由での接続環境がある場合（既設LANを利用する場合） ……5
3 操作方法 ……6
 3-1 ユーザー名，パスワードを入力し，G-50に接続する…6
 3-2 空調機の運転状態を確認する ……7
  3-2-1 全グループの運転状態を確認する……7
  3-2-2 ブロック別にグループの運転状態を確認する…8
 3-3 空調機の操作を行う ……9
  3-3-1 グループ単位で空調機を操作する……9
  3-3-2 ブロック一括で空調機を操作する …10
  3-3-3 全グループ一括で空調機を操作する …10
 3-4 異常発生中ユニットの一覧を確認する ……11
 3-5 フィルターサイン発生中ユニットの一覧を確認する…12
 3-6 スケジュールを設定する ……13
  3-6-1 週間スケジュールを設定する ……14
  3-6-2 年間スケジュールを設定する ……17
  3-6-3 当日スケジュールを変更する ……19
 3-7 異常履歴を確認する ……21
 3-8 現在日時を設定する ……22
 3-9 ユーザーを登録する ……23
 3-10 異常通報メールの送信履歴を確認する ……24
4 オプション機能のライセンス登録 ……25

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。
この取扱説明書は大切に保管してください。

1 はじめに

三菱電機(株)製［集中コントローラ G-50］は，LANで接続されたパソコンのWebブラウザから空調機の状態監視，操作を行うことができます。

空調機の状態監視・操作を行う際，Web ブラウザ以外にインストールするソフトが必要ないため，市販のパソコンにて簡単に空調機の監視，操作を行うことができます。

1-1 本書の表記について

・特に記載の無い限り，Windows® 98，Windows® Me，Windows® 2000，Windows® XP を［Windows］と表記しています。

※Windows は米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

・ボタン，フォルダ等にマウスのカーソルを合わせ，マウスの左ボタンを１回押して離す動作を［クリック］と表記しています。

・本書で使用している画面は，特に記載の無い限り，Windows 2000，Internet Explorer 6.0 における画面となっております。

1-2 動作環境

Web ブラウザにて空調機の監視，操作を行う場合，パソコンに下記環境が必要となります。

表 1-1 動作環境

項　目	内　容
CPU	Pentium 133MHz 以上
メモリ	64MByte 以上
画面解像度	推奨 1024×768 以上
対応ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 5.0以降 ※Java 実行環境（MicrosoftVM Ver.5.0以降，または Sun Microsystems 社製 Java Plug-in Ver.1.4.2 以降）が必要となります。 ※Microsoft VM のバージョンは，コマンドプロンプトから jview と入力することで確認できます。 ※Sun Microsystems 社製 Java Plug-in のバージョンは，コントロールパネル内の ”Java Plug-in” にて確認できます。
内蔵 LAN ポートまたは LAN カード	1 個（10BASE-T）
その他	マウスなどのポインティングデバイス

※Microsoft は米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

2 パソコンの環境設定

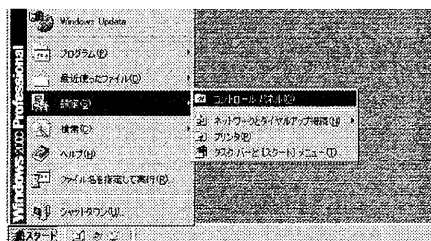
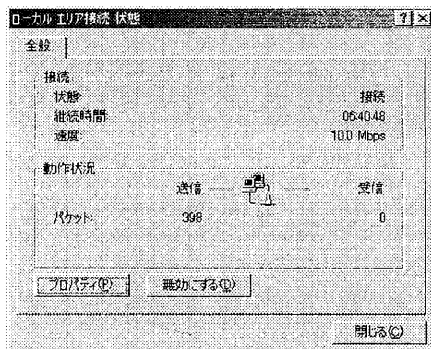
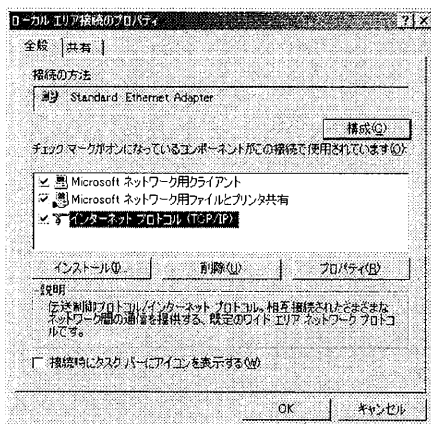
ここではWeb ブラウザで空調機の監視，操作を行うためのパソコンの設定，およびWeb ブラウザの設定について説明します。

2-1 パソコンのIP アドレスを設定する

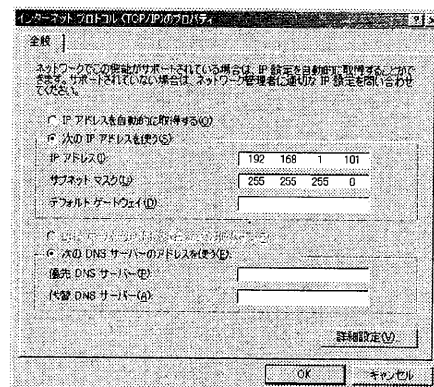
G-50 にWeb ブラウザで接続できるようにパソコンのIP アドレスを設定します。例えばG-50 のIP アドレスが[192.168.1.1]の場合，パソコンには同一系統のIP アドレス（［192.168.1.101］等）を設定します。

なお，G-50 を既設LAN に接続している場合は，LAN 管理者の指定したIP アドレスを設定してください。

※G-50 専用LAN の場合，G-50 本体のIP アドレスは［192.168.1.1］～［192.168.1.40］，G-50 と接続するパソコンのIP アドレスは［192.168.1.101］～［192.168.1.150］の間で設定することを推奨しています。

(1) [スタート]－[設定]－[コントロールパネル]を選択してクリックし，コントロールパネルを開きます。

(2) コントロールパネル画面で，[ネットワークとダイヤルアップ接続]をダブルクリックするとネットワーク接続画面が表示されますので，[ローカルエリア接続]をダブルクリックして[ローカルエリア接続状態]画面を開き，[プロパティ]をクリックします。

(3) [ローカルエリア接続のプロパティ]画面で[インターネットプロトコル]をクリックして選択し，[プロパティ]ボタンをクリックします。

(4) IP アドレスの設定画面で，[次の IP アドレスを使う]をクリックして選択し，IP アドレス欄に設定したい IP アドレス（[192.168.1.101]等）を入力します。
サブネットマスクには通常[255.255.255.0]を設定します。

※設定する IP アドレス，サブネットマスク は LAN 管理者にご確認ください。

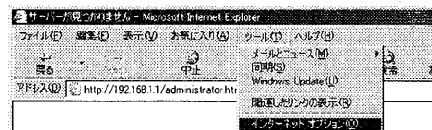
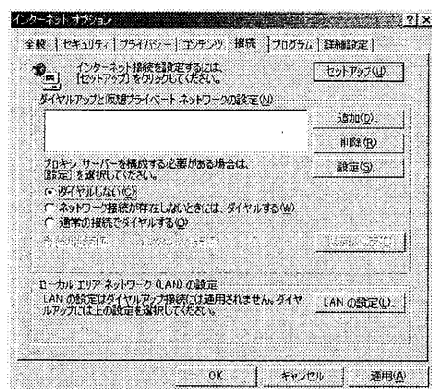
(5) [OK]ボタンをクリックしてこの画面を閉じ，他の開いた画面も閉じてネットワークの設定を完了します。

2-2 Webブラウザを設定する

G-50にWebブラウザで接続できるようにWebブラウザの設定を行います。

※設定例および画面例はInternet Explorer 6.0を用いています。

2-2-1 インターネット接続環境の無い場合

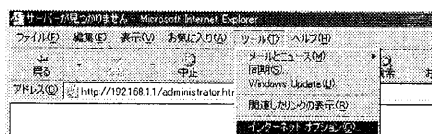
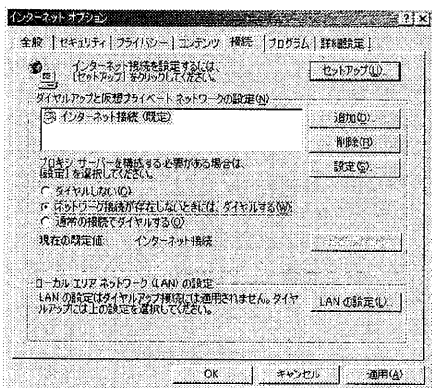
インターネット環境の無いパソコンを，空調機の監視，操作用に用いる場合は，以下の手順でWebブラウザの環境設定を行います。

(1)Webブラウザの[ツール]－[インターネットオプション]を選択してクリックします。

(2)[インターネットオプション]画面で，[接続]タブをクリックして，接続設定画面に入ります。

(3)ダイヤルアップの設定部の［ダイヤルしない］を選択し，[OK]ボタンをクリックして設定を完了します。

2-2-2 ダイヤルアップ接続環境がある場合

ダイヤルアップにてインターネットと接続する環境のパソコンを，空調機の監視，操作用に用いる場合は，以下の手順でWebブラウザの環境設定を行います。

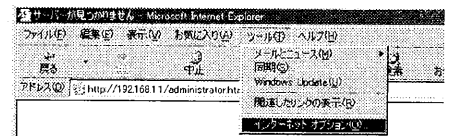
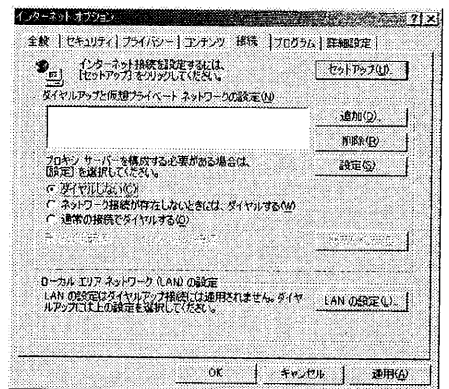
この設定を行うと，インターネットへの接続が必要な場合にダイヤルアップ接続するかどうかのメッセージが表示されます。インターネットへ接続したい場合はメッセージに従って接続してください。

(1)Webブラウザの[ツール]－[インターネットオプション]を選択してクリックします。

(2)[インターネットオプション]画面で，[接続]タブをクリックして，接続設定画面に入ります。

(3)ダイヤルアップの設定部の[ネットワーク接続が存在しないときには，ダイヤルする］を選択し，[OK]ボタンをクリックして設定を完了します。

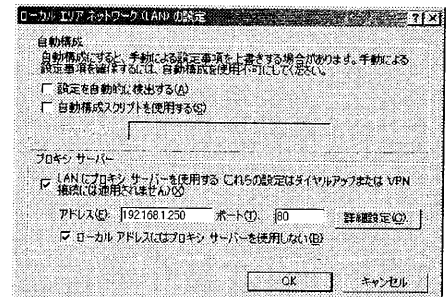
2-2-3 プロキシサーバー経由での接続環境がある場合(既設 LAN を利用する場合)

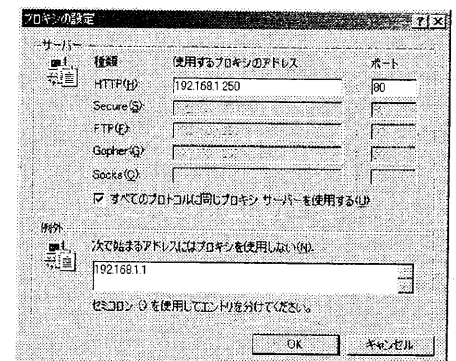
社内 LAN 等の既設 LAN に接続し，プロキシサーバー経由でインターネットと接続する環境のパソコンを，空調機の監視，操作用に用いる場合は，以下の手順で Web ブラウザの環境設定を行います。

この設定を行うと，インターネットと接続するときだけプロキシサーバー経由で接続されます。

(1) Web ブラウザの[ツール]－[インターネットオプション]を選択してクリックします。

(2) [インターネットオプション]画面で，[接続]タブをクリックして，接続設定画面に入ります。

(3) ダイヤルアップの設定部の ［ダイヤルしない］ を選択します。

(4) [LAN の設定]ボタンをクリックして，LAN の設定画面に入ります。

(5) LAN の設定画面で ［ローカルアドレスにはプロキシサーバーを使用しない］ を選択し，［詳細設定］ ボタンをクリックします。

(6) プロキシの設定画面の例外欄に，接続する G-50 の IP アドレス（192.168.1.1 等）を入力し，[OK]ボタンをクリックしてこの画面を閉じ，他の開いた画面も閉じて設定を完了します。

なお，複数の G-50 を接続する場合は，[192.168.1.1；192.168.1.2]のように複数の IP アドレスを指定しても良いのですが，アスタリスク(*)を利用して[192.168.1.*]と指定することも可能です。

3 操作方法

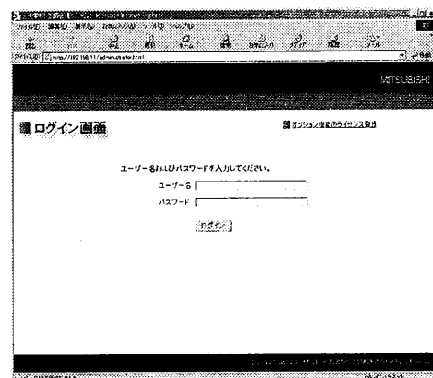
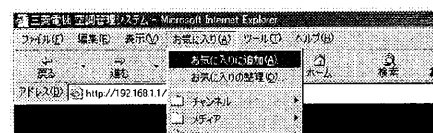
ここでは，G-50 との接続方法，および空調機の状態監視，操作の方法について説明します。

※停電等で G-50 が再起動した場合は，本体の画面が通常操作画面になってから Web ブラウザでアクセスしてください(通常画面が表示されるまで数分かかります)。再起動の途中でアクセスすると，最新のデータが表示されない，通信が出来ない等の現象が発生する場合があります。

3-1 ユーザー名，パスワードを入力し，G-50 に接続する

(1) Web ブラウザのアドレス欄に Web ページアドレスを入力し，キーボードの[Enter](リターン)キーを押すと，ログイン画面が表示されます。

http://[G-50 の IP アドレス]/administrator.html

※例えば G-50 の IP アドレスが[192.168.1.1]の場合，Web ページアドレスは，http://192.168.1.1/administrator.html となります。

(2) 次回から簡単に接続できるよう，ブラウザの[お気に入り]-[お気に入りに追加]を選択し，お気に入りに追加を行います。一度お気に入りに登録しておくと，次回からはお気に入りのメニューから選択するだけで G-50 の画面が表示されますので，(1)のアドレスを入力する必要がなくなります。

(3) ログイン画面でユーザー名とパスワードを入力し，[ログイン]ボタンをクリックすると，運転状態の監視画面へと移ります。通常の操作画面については，次ページ以降で操作方法を説明していきます。
一般ユーザー用，管理者用の Web ページアドレス，ユーザー名，パスワードの初期値，利用可能機能は以下のようになります。空調機の操作のみを行う一般ユーザーがいる場合は，適宜，Web ページアドレス，ユーザー名，パスワードを公開し，利用してください。

対象ユーザー	Web ページアドレス	ユーザー名初期値	パスワード初期値	利用可能機能
一般ユーザー	http://[G-50の IPアドレス]/index.html	guest	guest	空調機の運転状態モニタ・操作
管理者	http://[G-50の IPアドレス]/administrator.html	administrator	admin	空調機の運転状態モニタ・操作 年間・週間・当日スケジュール(オプション) 異常履歴のモニタ 時刻設定 ユーザー登録 メール送信履歴のモニタ オプション機能の登録

※一般ユーザーは最大５０個登録可能で，各ユーザーに操作可能な空調機を割り当てることができます。(オプション)
※Web ページは，利用しているパソコンと同一の言語にて表示されますが，下記 Web ページアドレスを入力することにより，他の言語で Web ページを表示することも可能です。

英語　　　: HTTP://[G-50 のＩＰアドレス]/en/administrator.html
ドイツ語　: HTTP://[G-50 のＩＰアドレス]/de/administrator.html
フランス語: HTTP://[G-50 のＩＰアドレス]/fr/administrator.html
スペイン語: HTTP://[G-50 のＩＰアドレス]/es/administrator.html
イタリア語: HTTP://[G-50 のＩＰアドレス]/it/administrator.html
ロシア語　: HTTP://[G-50 のＩＰアドレス]/ru/administrator.html
日本語　　: HTTP://[G-50 のＩＰアドレス]/ja/administrator.html

※上記は管理者用のアドレスです。一般ユーザー用は [administrator.html] を [index.html] に読み替えてご利用ください。

3-2 空調機の運転状態を確認する

ここでは空調機の運転状態を全グループ一覧またはブロック単位で監視する方法について説明します。

ログイン画面にて正しいユーザー名とパスワードを入力すると，運転状態のモニタ／操作画面が表示されます。

3-2-1 全グループの運転状態を確認する

メニューの［運転状態のモニタ／操作］をクリックするか，サブメニューの[運転状態のモニタ／操作]をクリックすると，全空調機グループの運転状態が一覧で表示されます。

空調機の異常監視や消し忘れの防止など，全グループを一覧で見たい場合にこの画面をご利用ください。

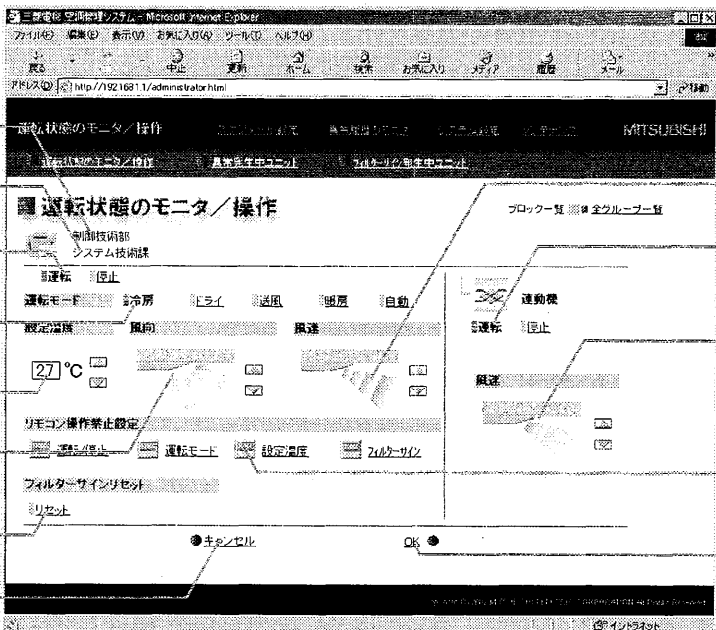
<table>
<tr><th>項　目</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td>ブロック一覧</td><td>運転状態をブロック単位で確認できる画面に移ります。</td></tr>
<tr><td>最新の情報に更新</td><td>[最新状態に更新]をクリックすると，画面が最新の情報に更新されます。
[自動]を選択すると，１分間隔で，自動的に最新の情報に更新されます。</td></tr>
<tr><td>一括操作</td><td>[一括操作]をクリックすると，全グループ一括で操作できます。</td></tr>
<tr><td>空調機アイコン</td><td>運転状態がアイコン化して表示されます。空調機アイコンにマウスのカーソルを合わせるとグループ名が表示されます。また，クリックすると操作画面に移ります。
各運転状態におけるアイコンは次の通りとなります。

(1) 空調機グループ運転状態
<table>
<tr><td>運転中</td><td>停止中</td><td>異常発生中</td><td>ﾌｨﾙﾀｰｻｲﾝ発生中</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>連動換気 運転中</td><td>連動換気 停止中</td><td>スケジュールあり</td><td>省エネ制御中</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

(2) 換気機器（ロスナイ）グループ運転状態
<table>
<tr><td>運転中</td><td>停止中</td><td>異常発生中</td><td>ﾌｨﾙﾀｰｻｲﾝ発生中</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

3-2-2 ブロック別にグループの運転状態を確認する

全グループの一覧画面にて[ブロック一覧]をクリックすると，空調機グループの運転状態がブロックごとに表示されます。

一覧画面のデータに加え，運転モードや設定温度などの状態も確認したい場合，またはブロック単位で運転状態を確認したい場合にこの画面をご利用ください。

項　目	内　容
グループ一覧	全グループの運転状態を一覧で確認できる画面に移ります。
最新の情報に更新	[最新の情報に更新]をクリックすると，画面が最新の情報に更新されます。 [自動]を選択すると，１分間隔で，自動的に最新の情報に更新されます。
一括操作	[一括操作]をクリックすると，ブロック一括で操作できます。
ブロック選択	表示，操作したいブロックを選択します。
空調機アイコン	運転状態がアイコン化して表示されます。クリックすると操作画面に移ります。
運転モード表示	運転モードが表示されます。
設定温度表示	設定温度が表示されます。
室温表示	室内機の吸い込み温度が表示されます。 ※室内機の吸い込み温度を表示するため，実際の室温とは異なる場合があります。
グループ名称表示	空調グループのグループ名称が表示されます。

3-3 空調機の操作を行う

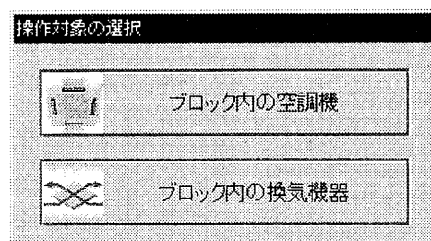
ここでは，空調機をグループ単位，ブロック一括，全グループ一括で操作する方法について説明します。

3-3-1 グループ単位で空調機を操作する

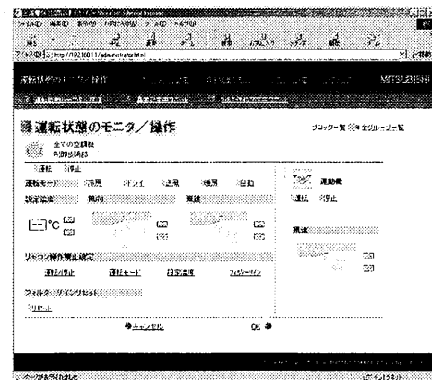
全グループ一覧，またはブロック一覧の運転状態監視画面にて，空調機アイコンまたは換気機器（ロスナイ）アイコンをクリックするとそのグループの操作画面が表示されます。現在の運転状態が表示されますので，操作したい項目を変更し，[OK]をクリックして操作内容を決定します。[キャンセル]をクリックすると，何もせずに元の画面に戻ります。

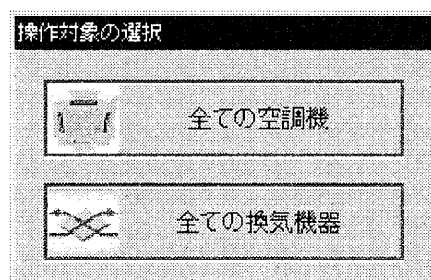
項　目	内　容
運転／停止	[運転][停止]をクリックして，運転，停止を切り換えます。
運転モード	[冷房][ドライ][送風][暖房][自動]をクリックして，運転モードを切り換えます。 換気機器（ロスナイ）の場合は，[普通換気][熱交換換気][自動換気]から選択します。 ※機種により操作できない運転モードがあります。操作できないモードは表示されません。 ※K制御機種では全てのモードが表示されますが，実際に利用可能なモードのみご利用ください。
設定温度	をクリックして，設定温度を変更します。 [冷房][ドライ]運転時は 19～30℃，[暖房]運転時は 17～28℃，[自動]運転時は 19～28℃で設定できます。 ※機種により設定温度範囲は変わります。 ※換気機器（ロスナイ）の場合は，本項目は表示されません。
風向	をクリックして，風向を設定します。 ※風向切換機能の無い機種は，本項目は表示されません。 ※スイング機能の無い機種は，スイング表示されません。
風速	をクリックして，風速を設定します。 ※風速切換機能の無い機種は，本項目は表示されません。 ※切換段数は機種により異なり，2 段階，3 段階，4 段階となります。
リモコン操作禁止	リモコンでの操作禁止項目を設定します。[運転/停止][運転モード][設定温度][フィルターサイン]の文字部分をクリックして，禁止 ，許可 を切り換えます。 ※K 制御機種は，全項目禁止または全項目許可のみ設定できます。 ※K 制御機種は，[フィルターサイン]の項目が表示されません。 ※換気機器（ロスナイ）は，[運転モード][設定温度]の項目は表示されません。
フィルターサイン	[リセット]をクリックして，リセットするか，しないかを切り換えます。リセットする場合は[リセット]のように，文字の左側が緑色表示になるようにしてください。 ※フィルターサインが発生していないグループは，本項目は表示されません。
連動機 運転／停止	[運転][停止]をクリックして，連動機の運転，停止を切り換えます。 ※連動機が接続されていないグループは，連動機の操作項目は表示されません。
連動機 風速	をクリックして，連動機の風速を設定します。 ※連動機が接続されていないグループは，連動機の操作項目は表示されません。

3-3-2 ブロック一括で空調機を操作する

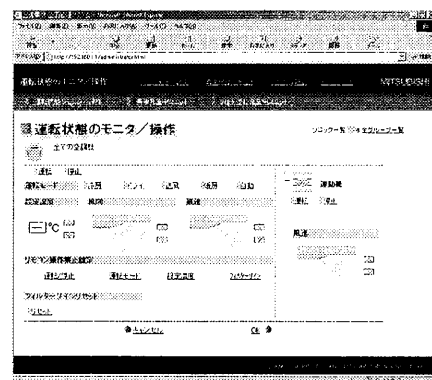
(1) ブロック一覧の運転状態監視画面にて一括で操作したいブロックを選択します。選択したブロック内に空調機グループと換気機器（ロスナイ）グループが混在している場合，空調機グループを設定するか，換気機器（ロスナイ）グループを設定するかの選択画面が表示されますので，[ブロック内の空調機]または[ブロック内の換気機器]を選択し，クリックすると，一括操作画面が表示されます。なお，選択したブロック内に空調機グループまたは換気機器（ロスナイ）グループのどちらか一方しか無い場合，この選択画面は表示されません。

(2) 一括操作画面にて内容設定後，[OK]をクリックすると操作した項目のみを選択したブロック内の全ての空調機グループまたは換気機器（ロスナイ）グループに対して送信します。[キャンセル]をクリックすると，何も設定せずに元の画面に戻ります。

※ブロック一括でフィルターサインのリセットを行うと，フィルターサイン発生有無に関わらず，選択したブロックに所属する全ユニットのフィルターサイン表示に用いられる運転時間の積算値がリセットされます。一括してフィルターの清掃を行った場合などにご利用ください。

※K制御機種のリモコン操作を許可したい場合は，リモコン操作禁止項目を全て許可に設定してください。

3-3-3 全グループ一括で空調機を操作する

(1) 全グループ一覧の運転状態監視画面にて[一括操作]をクリックします。システム内に空調機グループと換気機器（ロスナイ）グループが混在している場合，空調機グループを設定するか，換気機器（ロスナイ）グループを設定するかの選択画面が表示されますので，[全ての空調機]または[全ての換気機器]を選択し，クリックすると，一括操作画面が表示されます。
なお，システム内に空調機グループまたは換気機器（ロスナイ）グループのどちらか一方しか無い場合，この選択画面は表示されません。

(2) 一括操作画面にて内容設定後，[OK]をクリックすると操作した項目のみを全ての空調機グループまたは換気機器（ロスナイ）グループに対して送信します。[キャンセル]をクリックすると，何も設定せずに元の画面に戻ります。

※全グループ一括でフィルターサインのリセットを行うと，フィルターサイン発生有無に関わらず，全ユニットのフィルターサイン表示に用いられる運転時間の積算値がリセットされます。一括してフィルターの清掃を行った場合などにご利用ください。

※K制御機種のリモコン操作を許可したい場合は，リモコン操作禁止項目を全て許可に設定してください。

3-4 異常発生中ユニットの一覧を確認する

メニューの［運転状態のモニタ／操作］をクリックし，サブメニューの［異常発生中ユニット］をクリックすると，現在，異常が発生しているユニットが一覧で表示されます。

項　目	内　容
最新の情報に更新	［最新の情報に更新］をクリックすると，画面が最新の情報に更新されます。 ［自動］を選択すると，１分間隔で，自動的に最新の情報に更新されます。
一括リセット	［一括リセット］をクリックすると，異常が発生している全ての機器の異常がリセットされます。
発生中機器の台数	異常が発生している機器の台数が表示されます。
グループ名	グループ名が表示されます。 ※室外機やシステムコントローラなど，操作対象のグループに登録していない機器は空欄で表示されます。
ユニットアドレス	ユニットアドレスが表示されます。
異常コード	発生している異常の異常コードが表示されます。

3-5 フィルターサイン発生中ユニットの一覧を確認する

メニューの［運転状態のモニタ／操作］をクリックし，サブメニューの［フィルターサイン発生中ユニット］をクリックすると，現在，フィルターサインが発生しているユニットが一覧で表示されます。

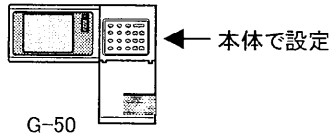
項　目	内　容
最新の情報に更新	［最新の情報に更新］をクリックすると，画面が最新の情報に更新されます。 ［自動］を選択すると，１分間隔で，自動的に最新の情報に更新されます。
一括リセット	［一括リセット］をクリックすると，フィルターサインが発生している全ての機器のフィルターサインがリセットされます。
発生中機器の台数	フィルターサインが発生している機器の台数が表示されます。
グループ名	グループ名が表示されます。
ユニットアドレス	ユニットアドレスが表示されます。
個別リセット	［リセット］をクリックすると，そのユニットが所属するグループのフィルターサインをリセットします。

3-6 スケジュールを設定する

［年間スケジュール／週間スケジュール］のライセンスを登録した場合は年間スケジュール，当日スケジュールが利用可能となり，週間スケジュールも拡張された機能が利用可能となります。ライセンス登録をしていない場合は，G-50 本体が持つ週間スケジュール機能のみ利用可能となります（ライセンス登録しない場合の操作方法については G-50 本体の取扱説明書をご覧下さい）。

ライセンス登録しない場合

本体で設定

G-50

週間スケジュール

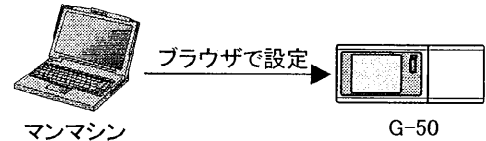
(1)1 日の動作回数
12 回（運転／停止：各 3 回，禁止／許可各 3 回）
運転設定は 1 日 3 回まで

(2)操作項目
①運転/停止
②設定温度（19～28℃）
③リモコン操作禁止/許可
設定温度は[運転]と一緒に設定する必要あり

(3)時刻設定単位
10 分
最小設定単位は 10 分

※本体の週間スケジュール機能は，ブラウザからは設定・内容確認ができません。

ライセンスを登録した場合

マンマシン　ブラウザで設定　G-50

週間スケジュール

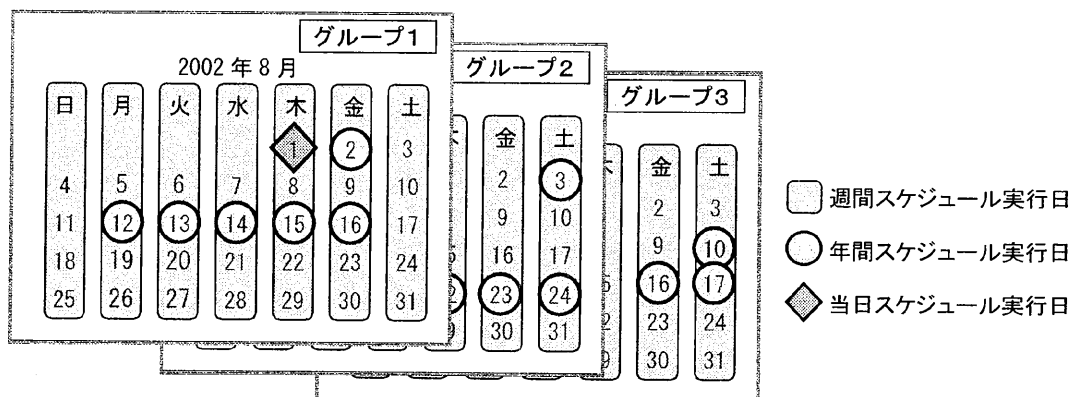
(1)1 日の動作回数
12 回
1 日 12 回まで設定可能

(2)操作項目
①運転/停止
②運転モード
③設定温度（17～30℃）
※設定出来る温度範囲は機種により異なります
④リモコン操作禁止/許可
設定温度のみ，運転モードのみといった設定が可能

(3)時刻設定単位
1 分
1 分単位で設定可能

年間スケジュール
祝日の設定が可能
祝日や夏期休暇など，週間スケジュールに当てはまらない日のスケジュールを，年間 50 日まで設定可能

当日スケジュール
当日の変更が可能
週間スケジュール，年間スケジュールを変更せずに，当日のスケジュールを変更可能。

ライセンス登録した場合の週間／年間／当日スケジュールは，空調機グループ単位で設定することが可能です。また，スケジュールはその日に設定されている週間／年間／当日スケジュールのうちのいずれかのスケジュールが実行され，実行される優先度は高い方から［当日］→［年間］→［週間］の順になっています。

3-6-1 週間スケジュールを設定する

メニューの［スケジュール設定］をクリックし，サブメニューの［週間スケジュール設定］をクリックすると週間スケジュールの設定画面が表示されます。週間スケジュールを設定するには，まず設定する対象を選択し，日曜日～土曜日の各曜日のスケジュール内容を設定します。

※スケジュールで実行された操作内容は，スケジュールまたはブラウザ等で変更されない限り継続しますので，その日限りのスケジュールを設定する場合は，翌日に影響が出ないような設定を行ってください。例えばスケジュール設定日の 17:00 以降をリモコン操作禁止にしたい場合は，17:00 に禁止，23:59 に許可を設定してください。

(1) スケジュールを設定する対象を選択する

(1-1) 特定のグループを選択する

特定のグループをスケジュール設定したい場合は［グループ］を設定単位欄からクリックして選択します。

設定単位
グループ　ブロック　全グループ

設定対象欄から所属するブロック名称を選択し，グループ名称を選択します。また，直接グループ名称，グループ番号をクリックして選択することも可能です。グループを選択すると，そのグループが保持しているスケジュール内容がスケジュール内容欄に表示されます。

(1-2) ブロック内のグループを一括して選択する

ブロック内のグループを一括してスケジュール設定したい場合は［ブロック］を設定単位欄からクリックして選択します。

設定単位

グループ　ブロック　全グループ

設定対象欄から所属するブロック名称を選択します。また，グループ番号をクリックすると，そのグループが所属するブロックが選択されます（ブロックに所属していないグループは選択できません）。

ブロック選択後，選択したブロック内に空調機グループと換気機器（ロスナイ）グループが混在している場合，空調機グループを設定するか，換気機器（ロスナイ）グループを設定するかの選択画面が表示されますので，［ブロック内の空調機］または［ブロック内の換気機器］を選択し，クリックします。選択したブロック内に空調機グループまたは換気機器（ロスナイ）グループのどちらか一方しか無い場合はこの画面は表示されません。

次に，スケジュール設定方法を［新規内容設定］するか，［グループの設定内容を流用して設定］するかを選択する画面が表示されますので，今までの設定に追加したい場合などは流用を選択し，流用元のグループ名称を選択し，［OK］ボタンを押してください。

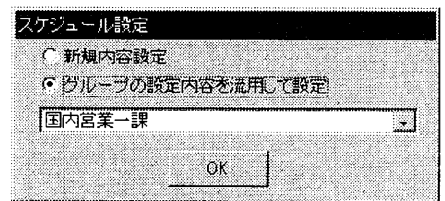
新規を選択した場合はスケジュール内容欄が全て空欄で表示されます。流用を選択した場合は，流用元グループに設定されているスケジュール内容が，スケジュール内容欄に表示されます。

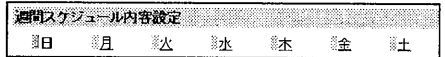
(1-3) 全グループを一括して選択する

全グループを一括してスケジュール設定したい場合は［全グループ］を設定単位欄からクリックして選択します。

全グループ選択後，システム内に空調機グループと換気機器（ロスナイ）グループが混在している場合，空調機グループを設定するか，換気機器（ロスナイ）グループを設定するかの選択画面が表示されますので，［全ての空調機］または［全ての換気機器］を選択し，クリックします。システム内に空調機グループまたは換気機器（ロスナイ）グループのどちらか一方しか無い場合はこの画面は表示されません。

次に，スケジュール設定方法を［新規内容設定］するか，［グループの設定内容を流用して設定］するかを選択する画面が表示されますので，今までの設定に追加したい場合などは流用を選択し，流用元のグループ名称を選択し，［OK］ボタンを押してください。

新規を選択した場合はスケジュール内容欄が全て空欄で表示されます。流用を選択した場合は，流用元グループに設定されているスケジュール内容が，スケジュール内容欄に表示されます。

(2) 設定する曜日を選択する

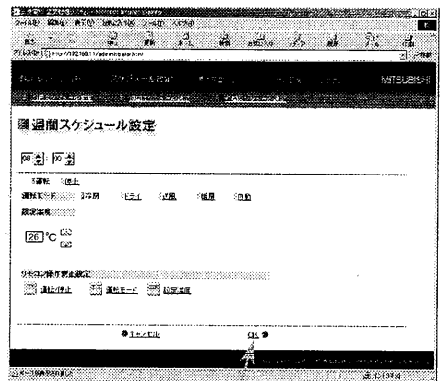
画面右上の曜日選択部で，日曜日から土曜日の中からスケジュールを設定したい曜日をクリックして選択します。

(3) スケジュール内容を設定する

スケジュール内容欄の［設定］ボタンをクリックすると，スケジュール内容設定画面が表示されますので，スケジュール実行時刻，および運転内容（運転／停止，運転モード，設定温度，リモコン操作禁止設定）を設定し，［OK］ボタンをクリックします。

特定の運転内容だけ設定することにより，運転モードだけ，設定温度だけのスケジュール設定も可能です。

※全グループ／ブロック一括選択時は，自動モードなどの運転モードが全て設定できるようになりますが，設定した空調機にその機能が無い場合には指定されたモードでは動作しません。設定の際は空調機の機能を考慮の上，スケジュール設定を行ってください。

※全グループ／ブロック一括選択時は，リモコン操作禁止項目が個別に選択可能となりますが，K制御機種のリモコン操作を許可したい場合は，全ての項目を［許可］にして設定してください。

※換気機器の場合は，設定温度は表示されません。また，リモコン操作禁止項目は［運転／停止］のみとなります。

OK ボタン

(4) スケジュール内容を保存する

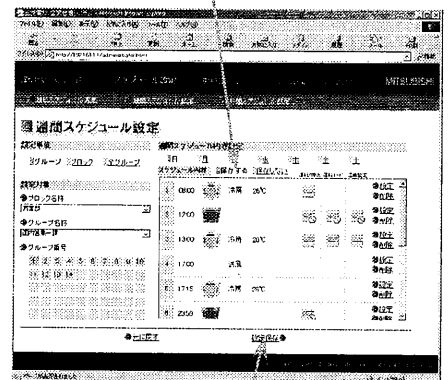
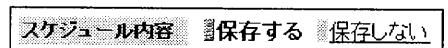
スケジュール内容を設定した後，［設定保存］ボタンをクリックしてスケジュール設定を保存します。

なお，スケジュール設定が保存されるのはスケジュール内容部の［保存する］が選択されている曜日のみで，［保存しない］が選択されている曜日は保存されません（［設定保存］ボタンを押した後にスケジュール内容を変更した曜日は自動的に［保存する］が選択されます）。

全グループまたはブロック一括設定時に，流用したスケジュール内容を変更せずにそのまま設定したい場合，または，新規で開き，空白（スケジュール無し）のまま設定したい場合は，設定したい曜日を［保存する］に変更した後，［設定保存］ボタンをクリックしてください。

前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合，［元に戻す］ボタンをクリックすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

設定保存ボタン

※全グループ一括や複数のグループを含むブロックを一括で保存する場合は，設定する台数が多いため，設定完了まで数分かかることがあります。

3-6-2 年間スケジュールを設定する

メニューの［スケジュール設定］をクリックし，サブメニューの［年間スケジュール設定］をクリックすると年間スケジュールの設定画面が表示されます。年間スケジュールでは祝日や夏期休暇など，週間スケジュールに当てはまらない日のスケジュールを空調機グループごとに，24ヶ月先（今月含む）までの範囲で50日間設定できます（前日以前の年間スケジュールは自動的に削除されます）。

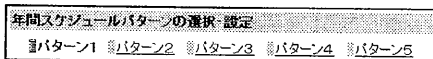
年間スケジュールを設定するには，まず設定する対象を選択し，スケジュールパターン（パターン1～5）のスケジュール内容を設定した後で，祝日や夏期休暇などの日にパターンを割り当てます。

※スケジュールで実行された操作内容は，スケジュールまたはブラウザ等で変更されない限り継続しますので，その日限りのスケジュールを設定する場合は，翌日に影響が出ないような設定を行ってください。例えばスケジュール設定日の17:00以降をリモコン操作禁止にしたい場合は，17:00に禁止，23:59に許可を設定してください。

(1) スケジュールを設定する対象を選択する

週間スケジュールと同様にして設定する対象を選択します。（3-6-1参照）

(2) 設定するスケジュールパターンを選択する

画面右上のパターン選択部で，パターン1からパターン5の中からスケジュール内容を設定したいパターンをクリックして選択します。（パターンを変更しない場合は(2)(3)の作業は必要ありません）

年間スケジュールパターンの選択・設定
パターン1 パターン2 パターン3 パターン4 パターン5

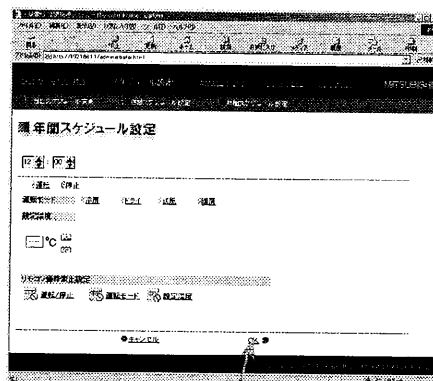
(3) スケジュール内容を設定する

スケジュール内容欄の［設定］ボタンをクリックすると，スケジュール内容設定画面が表示されますので，スケジュール実行時刻，および運転内容（運転／停止，運転モード，設定温度，リモコン操作禁止設定）を設定し，［OK］ボタンをクリックします。

特定の運転内容だけ設定することにより，運転モードだけ，設定温度だけのスケジュール設定も可能です。

※全グループ／ブロック一括選択時は，自動モードなどの運転モードが全て設定できるようになりますが，設定した空調機にその機能が無い場合には指定されたモードでは動作しません。設定の際は空調機の機能を考慮の上，スケジュール設定を行ってください。

※全グループ／ブロック一括選択時は，リモコン操作禁止項目が個別に選択可能となりますが，K制御機種のリモコン操作を許可したい場合は，全ての項目を［許可］にして設定してください。

※換気機器の場合は，設定温度は表示されません。また，リモコン操作禁止項目は［運転／停止］のみとなります。

(4) パターン割り当て日を設定する

設定したスケジュールパターンを，祝日や夏期休暇など，週間スケジュールに当てはまらない日に割り当てます。

パターンを割り当てるには，まず割り当てたいパターンをクリックして選択し，カレンダーの日付欄をクリックすると，日付欄に選択したパターン番号が表示されます。

一度設定したパターンを解除したい場合は［パターン解除］を選択し，日付欄をクリックします。

< 2002年 8月 >

日	月	火	水	木	金	土	
				1 2	2	3	パターン1
4	5	6	7	8	9	10	パターン2
11	12 1	13 1	14 1	15 1	16 1	17	パターン3
18	19	20	21	22	23	24	パターン4
25	26	27	28	29	30	31	パターン5
							パターン解除

(5) スケジュール内容を保存する

スケジュールパターンまたはパターン割り当てを設定した後，［設定保存］ボタンをクリックしてスケジュール設定を保存します。

なお，スケジュールパターンが保存されるのはスケジュール内容部の［保存する］が選択されているパターンのみで，パターン割り当て日が保存されるのは，パターン割り当て日の［保存する］が選択されている場合のみとなります（［設定保存］ボタンを押した後に内容を変更した部分は自動的に［保存する］が選択されます）。

全グループまたはブロック一括設定時に，流用したスケジュール内容を変更せずにそのまま設定したい場合，または，新規で開き，空白（スケジュール無し）のまま設定したい場合は，設定したいスケジュールパターンまたはパターン割り当て日を［保存する］に変更した後，［設定保存］ボタンをクリックしてください。

前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合，［元に戻す］ボタンをクリックすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

※全グループ一括や複数のグループを含むブロックを一括で保存する場合は，設定する台数が多いため，設定完了まで数分かかることがあります。

設定保存ボタン

3-6-3 当日スケジュールを変更する

メニューの［スケジュール設定］をクリックするか，サブメニューの［当日スケジュール変更］をクリックすると当日スケジュールの設定画面が表示されます。当日スケジュールでは，週間・年間スケジュールを変更せずに当日のみ有効なスケジュールを設定することができます。

当日スケジュールを設定するには，まず設定する対象を選択し，スケジュール内容を設定します。

※スケジュールで実行された操作内容は，スケジュールまたはブラウザ等で変更されない限り継続しますので，その日限りのスケジュールを設定する場合は，翌日に影響が出ないような設定を行ってください。例えばスケジュール設定日の 17:00 以降をリモコン操作禁止にしたい場合は，17:00 に禁止，23:59 に許可を設定してください。

(1) スケジュールを設定する対象を選択する

週間スケジュールと同様にして設定する対象を選択します。（3-6-1 参照）

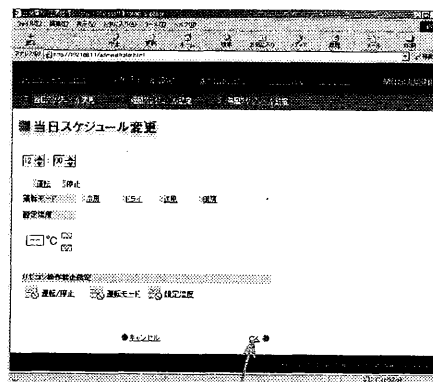
(2) スケジュール内容を設定する

スケジュール内容欄の［設定］ボタンをクリックすると，スケジュール内容設定画面が表示されますので，スケジュール実行時刻，および運転内容（運転／停止，運転モード，設定温度，リモコン操作禁止設定）を設定し，［OK］ボタンをクリックします。

特定の運転内容だけ設定することにより，運転モードだけ，設定温度だけのスケジュール設定も可能です。

※全グループ／ブロック一括選択時は，自動モードなどの運転モードが全て設定できるようになりますが，設定した空調機にその機能が無い場合には指定されたモードでは動作しません。設定の際は空調機の機能を考慮の上，スケジュール設定を行ってください。

※全グループ／ブロック一括選択時は，リモコン操作禁止項目が個別に選択可能となりますが，K制御機種のリモコン操作を許可したい場合は，全ての項目を［許可］にして設定してください。

※換気機器の場合は，設定温度は表示されません。また，リモコン操作禁止項目は[運転／停止]のみとなります。

(3) スケジュール内容を保存する

スケジュール内容を設定した後，［設定保存］ボタンをクリックしてスケジュール設定を保存します。

なお，スケジュール設定が保存されるのはスケジュール内容部の［保存する］が選択されている場合のみで，［保存しない］が選択されている場合は保存されません（［設定保存］ボタンを押した後にスケジュール内容を変更した曜日は自動的に［保存する］が選択されます）。

全グループまたはブロック一括設定時に，流用したスケジュール内容を変更せずにそのまま設定したい場合，または，新規で開き，空白（スケジュール無し）のまま設定したい場合は，スケジュール内容部を［保存する］に変更した後，［設定保存］ボタンをクリックしてください。

前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合，［元に戻す］ボタンをクリックすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

※全グループ一括や複数のグループを含むブロックを一括で保存する場合は，設定する台数が多いため，設定完了まで数分かかることがあります。

設定保存ボタン

3-7 異常履歴を確認する

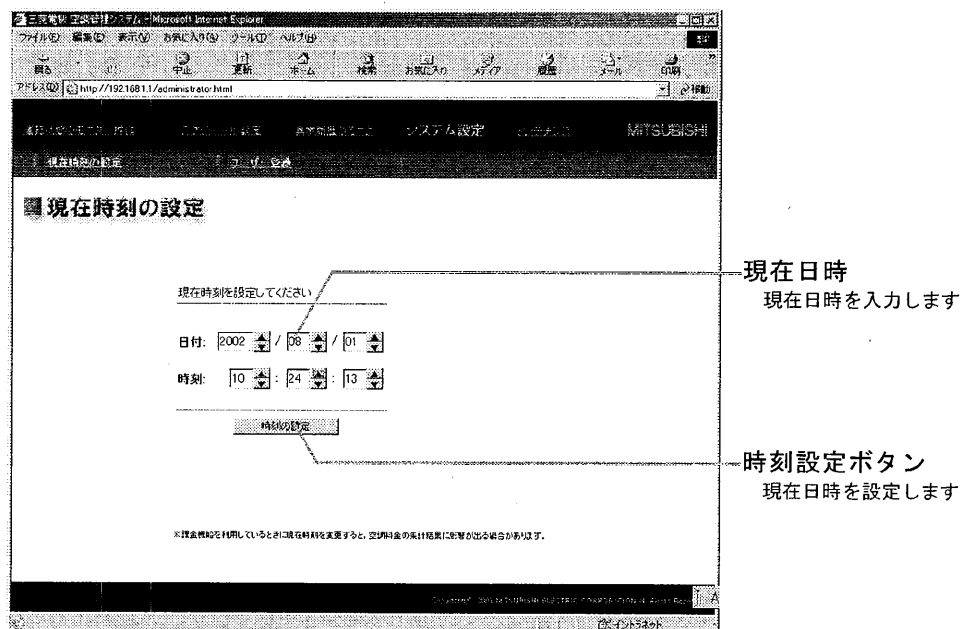
メニューの［異常履歴のモニタ］をクリックすると，ユニット異常の履歴（最新の 64 件）が表示されます。
サブメニューの［通信異常］をクリックすると， M-NET 通信異常の履歴（最新の 64 件）が表示されます。

項　目	内　容
ユニット異常履歴	［ユニット異常］をクリックするとユニット異常履歴が表示されます。
通信異常履歴	［通信異常］をクリックすると M-NET 通信異常履歴が表示されます。
最新の情報に更新	［最新の情報に更新］をクリックすると，画面が最新の情報に更新されます。 ［自動］を選択すると，１分間隔で，自動的に最新の情報に更新されます。
履歴クリア	［異常履歴のクリア］をクリックすると，表示されている異常履歴が消去されます。
発生日時	異常発生日時が表示されます。
異常発生元アドレス	異常が発生したユニットのアドレスが表示されます。
異常検出元アドレス	異常を検出したユニットのアドレスが表示されます。
異常コード	異常コードが表示されます。
異常復旧日時	異常が復旧した日時を表示します。

3-8 現在日時を設定する

メニューの［システム設定］をクリックすると，現在日時の設定画面が表示されます。現在日時入力後，設定ボタンを押して現在日時を設定してください。

※スケジュール運転を行っている場合に現在日時を進めると，飛ばされた時刻のスケジュールは実行されませんのでご注意ください。

※課金機能を利用しているときに現在日時を変更すると，空調料金の集計結果に影響が出る場合があります。

項　目	内　容
現在日時	現在の日時を入力します。 日付部分は，［年／月／日］の順に入力します。
時刻設定ボタン	［時刻設定］ボタンをクリックすると，現在日時が設定されます。

3-9 ユーザーを登録する

メニューの［システム設定］をクリックし，［ユーザー登録］をクリックするとユーザー登録画面が表示されます。

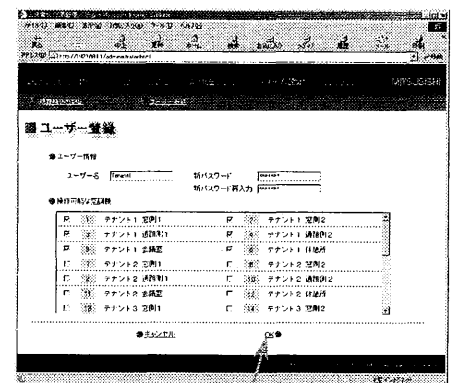
G-50 にログインするためのユーザー名，パスワードを追加，変更したいとき，および，一般ユーザーが操作可能な空調機を登録したい場合にご利用ください。操作可能な空調機を指定しておくと，一般ユーザーがログインしたとき，指定された空調機のみ，表示・操作可能となります。

※管理者用ユーザー：[../administrator.html]からログインするユーザー
　一般ユーザー　　：[../index.html]からログインするユーザー（空調機の操作のみ可能）
※一般ユーザーが空調機を操作可能とするには，［個人用ブラウザ］のライセンスを登録する必要があります。

(1) ユーザー情報を作成・変更する

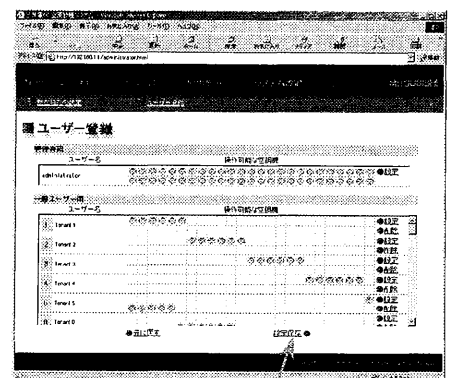
ユーザー情報欄の［設定］ボタンをクリックすると，ユーザー情報設定画面が表示されますので，ユーザー名，パスワードを入力し，操作可能な空調機を選択して，［OK］ボタンをクリックします。

※一般ユーザーがログインしたとき，ここで指定した空調機のみ操作可能となります。

※管理者用ユーザーは常に全空調機が操作可能であるため，操作可能な空調機を選択することはできません。

(2) ユーザー情報を保存する

ユーザー情報の設定が完了したら，［設定保存］ボタンをクリックしてユーザー情報を保存します。

前回保存時の設定状態に戻したい場合は，［元に戻す］ボタンをクリックします。

※ユーザー情報変更後，［設定保存］を行わずに他のページへ移動してしまった場合，変更した内容は反映されません。必ず［設定保存］を行ってください。

3-10 異常通報メールの送信履歴を確認する

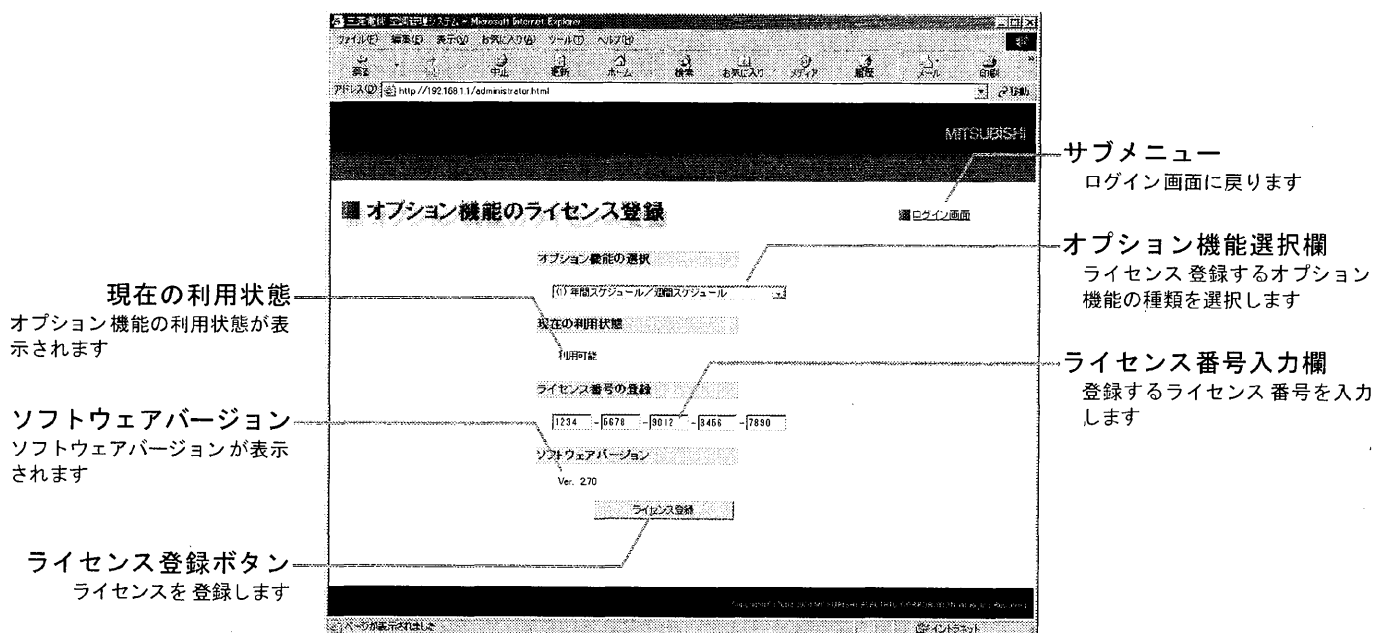
メニューの［メンテナンス］をクリックすると，異常発生時および異常復旧時に送信したメールの送信履歴が表示されます。

なお，異常発生時にメールを送信させるためには，初期設定ツールにて発報先メールアドレスやメールサーバ情報等を設定する必要があります。

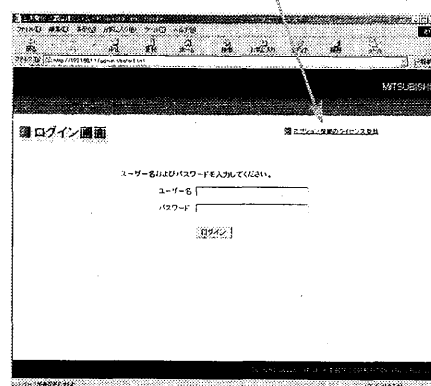
項　目	内　容
最新の情報に更新	[最新の情報に更新]をクリックすると，画面が最新の情報に更新されます。 [自動]を選択すると，１分間隔で，自動的に最新の情報に更新されます。
履歴クリア	[メール送信履歴のクリア]をクリックすると，異常メール送信履歴が消去されます。
送信日時	メール送信日時が表示されます。
異常発生元アドレス	異常が発生したユニットのアドレスが表示されます。
異常コード	異常コードが表示されます。
発生／復旧	異常の発生／復旧の区分が表示されます。
送信結果	メールの送信結果が OK または NG で表示されます。

4 オプション機能のライセンス登録

ここでは，オプション機能のライセンス登録方法について説明します。ログイン画面（3-1 参照）にて，［オプション機能のライセンス登録］をクリックすると，オプション機能のライセンス登録画面が表示されます。

オプション機能の内容およびライセンス番号の購入方法は，お買い上げの販売店にお問い合わせください。

(1) オプション機能のライセンス登録画面を開く

Web ブラウザのアドレス欄に Web ページアドレスを入力し，キーボードの[Enter]（リターン）キーを押すと，ログイン画面が表示されます（3-1 参照）。

この画面で[オプション機能のライセンス登録]をクリックすると，オプション機能のライセンス登録画面が開きます

(2) オプション機能のライセンス登録を行う

オプション機能のライセンス登録画面のオプション機能選択欄から，ライセンス登録したい機能を選択します。機能を選択すると現在の利用状態が表示されます。

次に，購入したライセンス番号を入力し，［ライセンス登録］ボタンをクリックすると，ライセンスが登録されオプション機能が利用できるようになります。

正常に登録できない場合は，ライセンス番号が間違えていないか，ライセンス登録するオプション機能を正しく選択しているか，また，G-50 本体の現在日時が正しく設定されているかを確認してください。